

平成 29 年度  
岐阜大学大学院連合農学研究科  
(後期 3 年のみの博士課程)

## 学生募集要項

(一般入試・推薦入試・外国人特別入試)  
(平成 29 年 4 月・10 月入学)

構成国立大学法人

( 岐阜大学  
静岡大学 )

連携研究機関

( 国立研究開発法人産業技術総合研究所  
静岡県試験研究機関 )

国立大学法人 岐阜大学大学院連合農学研究科

〒501-1193 岐阜市柳戸 1 番 1

TEL (058) 293-2984・2985

FAX (058) 293-2992

E-mail renno@gifu-u.ac.jp

---

THE UNITED GRADUATE SCHOOL OF AGRICULTURAL SCIENCE,  
GIFU UNIVERSITY  
(THREE-YEAR DOCTORAL COURSE)

## GUIDELINES FOR APPLICANTS FOR ADMISSION IN APRIL・OCTOBER, 2017

GENERAL ADMISSION  
ADMISSION ON RECOMMENDATION  
SPECIAL ADMISSION FOR INTERNATIONAL STUDENTS

AFFILIATED UNIVERSITY

( Gifu University  
Shizuoka University )

COLLABORATIVE INSTITUTE

( National Institute of Advanced Industrial Science and Technology )  
Research Institutes of Shizuoka Prefecture

The United Graduate School of Agricultural Science, Gifu University

1-1 Yanagido, Gifu 501-1193, Japan

Phone: +81-58-293-2984, 2985

Fax: +81-58-293-2992

E-mail: renno@gifu-u.ac.jp

# 目 次

## 【入試に関すること】

連合農学研究科アドミッションポリシー.....	1
一般入試・推薦入試・外国人特別入試の概要.....	2
フローチャート.....	3
一般入試.....	4
推薦入試.....	13
外国人特別入試.....	18

## 【岐阜大学大学院連合農学研究科の概要】

1. 設置の趣旨.....	24
2. 専攻の内容.....	24
3. 教育上の特色.....	25
4. 修了要件・学位.....	25
5. 専攻名と連合講座の概要.....	25

主指導教員となり得る者の教育研究分野・受験専門科目一覧.....	27
入試統計.....	66
試験場への案内.....	67
岐阜大学構内案内図.....	69

# CONTENTS

## 【Admissions】

UGSAS-GU Admission Policy .....	31
Admissions Overview .....	33
Flowchart.....	34
General Admission.....	35
Admission on Recommendation.....	46
Special Admission for International Students.....	52

## 【Outline of the UGSAS-GU】

1. Purpose of Foundation .....	59
2. Specialized Courses.....	59
3. Special Features of the United Graduate School of Agricultural Science.....	60
4. Requirements for Doctoral Degree.....	60
5. Outline of Major Chairs [Rengo-Koza].....	60
Fields of Instruction and Research Themes of Professors.....	62
Admission Statistics.....	66
Maps and Directions.....	68
Campus Map.....	70

## 連合農学研究科アドミッションポリシー

本研究科は、静岡大学大学院総合科学技術研究科及び岐阜大学大学院応用生物科学研究科が中心となり、2つの大学が有機的に連合することによって、特徴ある教育・研究組織を構成し、単位制教育による多様な科目を提供し、複数教員による博士論文研究指導を進めています。

農学の理念は、地球という生態系の中で、環境を保全し、食料や生物資材の生産を基盤とする包括的な科学技術及び文化を発展させ、人類の生存と福祉に貢献することです。またこの学問は、人間の生活にとって不可欠な生物生産と人間社会との関わりを基盤とする総合科学であり、生命科学、生物資源科学、環境科学、生活科学、社会科学等を主要な構成要素としています。(平成14年「農学憲章」より抜粋)

本研究科は、生物(動物、植物、微生物)生産、生物環境及び生物資源に関する諸科学について、高度の専門能力と豊かな学識、広い視野を持った研究者及び高度専門技術者を養成し、農学の進歩と生物資源関連産業の発展に寄与することを目指しています。そして、農学の持つ幅広い知識を学び、課題を探究し、境界領域や複合領域における諸問題の解決及び課題発掘能力を醸成する教育を行います。また、高度な農学の諸技術や科学の習得を希望する外国人留学生も積極的に受け入れます。

### 求める学生像

1. 人類の生存を基本に農学の総合性を理解し地域及び社会貢献に意欲を持つ人
2. 研究課題を自ら設定し、その課題にチャレンジする意欲を持つ人
3. 専門の知識だけでなく、幅広い知識の吸収に意欲を持つ人
4. 倫理観を持ち、農学及び関連分野でリーダーシップを発揮できる人
5. 国際的に活躍する意欲があり、そのための基礎力を持つ人

## 各専攻のアドミッションポリシー

### 生物生産科学専攻

作物の肥培管理及び家畜の飼養管理、動植物の保護・遺伝育種、生産物の利用、農林畜産業の経営、経済及び物流に関する諸問題を総合し、第1次産業としての植物及び動物の生産から、加工・流通を経て、消費者への供給に至るまでの生物関連産業の全過程に関する学理と技術に関する諸問題に関心を持ち、これらに関し社会から必要とされる研究に意欲を持つ人を求めます。

### 生物環境科学専攻

地球規模の環境と生物のかかわりや農林業等の生物生産の基礎となる自然環境に関する諸問題について生態学・生物学的、物理学的及び化学的手法によって学理を究めようとする人を求めます。

また、持続可能な生物資源の管理、森林生態系や農地生態系の環境保全に関する原理と技術について研究することで社会に貢献することに強い意欲を持つ人を求めます。

### 生物資源科学専攻

動物、植物、微生物等の生物資源とその生産基盤である土壌について、その組織・構造・機能を物理化学・有機化学・生化学・分子及び細胞生物学など多面的かつ総合的立場から解析することによって、生物資源及び生命機能に関する基盤的な学理を極め、さらに未利用資源を含めた生物資源のより高度な利活用、新規機能物質の創製、環境改善への応用に関する原理の理解と技術の修得に意欲を持つ人を求めます。

## 一般入試・推薦入試・外国人特別入試の概要

### 《一般入試》（詳細は 4 ページ以降に記載）

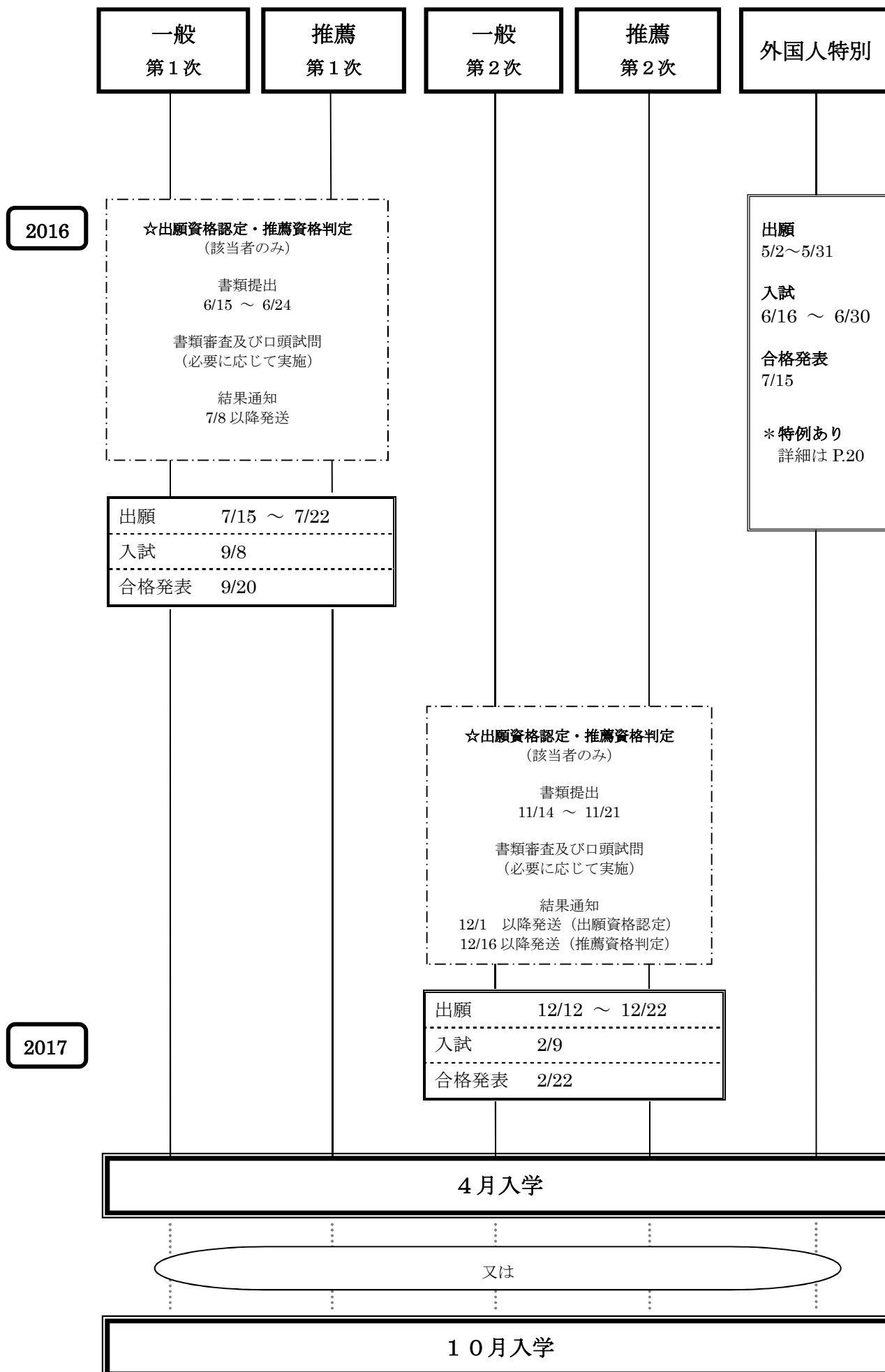
- ・修士課程修了者・修了予定者、又は相応の資格があると認定された者が受験することができる。
- ・試験は年 2 回（9 月・2 月）行う。試験科目は筆記試験及び口頭試問。

### 《推薦入試》（詳細は 13 ページ以降に記載）

- ・以下のいずれかに該当する者が受験できる。
  - ① 岐阜大学大学院連合農学研究科教員の指導を受けて修士の学位を授与された者又は授与される見込みの者
  - ② 岐阜大学又は静岡大学と協定を結んでいる海外の大学において、理科系の修士の学位を授与された者又は授与される見込みの者
  - ③ ①、②以外で、理科系の修士の学位を授与された又は授与される見込みで、相応の学力研究能力を有すると確認できる者
- ・試験は年 2 回（9 月・2 月）行う。ただし、9 月・2 月以外にも追加募集することがある。試験科目は口頭試問。

### 《外国人特別入試》（詳細は 18 ページ以降に記載）

- ・修士の学位を授与された者又は授与される見込みの者で、英語能力が十分だと判断できる者が受験できる。
- ・試験は 6 月に行う。試験科目は口頭試問。  
特例として、以下の者は随時受験することができる。
  - ① コンソーシアム加盟大学（対象の大学名は 20 ページに記載）の理科系の修士課程を修了又は修了見込みの者
  - ② コンソーシアム加盟大学に在職中の者
  - ③ 本研究科において特別に認められた者



# 一般入試

## 1. 募集人員

専攻	募集人員
生物生産科学	7人
生物環境科学	5人
生物資源科学	8人
計	20人

※この募集人員数は一般入試・推薦入試・外国人特別入試を合計した人員数である。

## 2. 入学時期

本選抜試験の対象とする入学時期は、「平成 29 年 4 月」又は「平成 29 年 10 月」である。ただし、出願時に 4 月入学を希望した者が、10 月入学に変更したい場合、平成 29 年 3 月 3 日（金）までに理由書を岐阜大学大学院連合農学研究科連合農学係に提出すること。

## 3. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 修士の学位を有する者又は平成 29 年（2017 年）3 月末日（4 月入学希望者）又は 9 月末日（10 月入学希望者）までに授与される見込みの者
- (2) 外国において修士の学位に相当する学位を授与された者又は授与される見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (6) 文部科学大臣の指定した者（平成元年告示第 118 号）  
{平成元年告示第 118 号（抄）平成 13 年 3 月 30 日一部改正：大学を卒業し、又は外国において学校教育における 16 年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2 年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者}
- (7) 本研究科において、個別の出願資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24 歳に達したもの  
{「4 - 2) 出願資格の認定」参照}

対象となる者： 短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者や外国大学日本校、外国人学校等の卒業者等について、本研究科における個人の能力の個別審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者。

## 4. 出願資格の認定

前頁「3. 出願資格(6)」に該当する者の認定は、次の提出書類及び必要に応じて行う口頭試問等に基づいて認定する。

なお、認定した出願資格の有効期間は、認定した年度を含め3年間である。有効期間中に出席する場合、本研究科からの出願資格認定通知書の写しを添付することにより、出願資格認定に代えることができる。

### 提出書類

(1) 入学試験出願資格認定申請書① (別紙様式第8号)	本研究科所定の用紙に必要事項を記入後、提出すること。	1 通
(2) 履歴書 (別紙様式第2号)	本研究科所定の用紙に必要事項を記入後、提出すること。 ※外国人留学生は、小学校以降の学歴を記入すること。	1 通
(3) 研究歴証明書 (別紙様式第9号)	研究に従事した官公庁、企業等の研究機関の長が作成したものを研究機関ごとに提出すること。	1 通
(4) 卒業証明書 (最終学校)	出身学校長が作成したものを提出すること。	1 通
(5) 研究業績書 (別紙様式第10号:表紙用)	A4サイズ of 用紙を使用し、和文の場合は、2,000字程度、英文の場合は、1,200語程度で記入し、(別紙様式第10号)を表紙として付けたものを、提出すること。	10 通 (正1 通・副 (コピー可) 9 通)
(6) 研究成果資料	著書、学術論文、学術報告、学術講演、特許等の研究業績を示す資料。	1 通
(7) 資格認定審査結果送付用封筒 (本研究科所定の封筒:長形3号)	所定の封筒に受取先住所・氏名・郵便番号を明記し、820円切手(書留・速達を含む郵送料)を貼って提出すること。	1 通

注) 提出書類は、原則として日本語で記載すること。

## 4-2) 出願資格の認定

前頁「3. 出願資格(7)」に該当する者の認定は、次の提出書類及びこれまでの研究内容等を中心とした口頭試問に基づいて認定する。

### 提出書類

(1) 入学試験出願資格認定申請書② (別紙様式第8号-2)	本研究科所定の用紙に必要事項を記入後、提出すること。	1 通
(2) 履歴書 (別紙様式第2号)	本研究科所定の用紙に必要事項を記入後、提出すること。 ※外国人留学生は、小学校以降の学歴を記入すること。	1 通
(3) 研究歴証明書 (別紙様式第9号)	研究に従事した官公庁、企業等の研究機関の長が作成したものを研究機関ごとに提出すること。	1 通
(4) 卒業証明書 (最終学校)	出身学校長が作成したものを提出すること。	1 通

(5) 研究業績書 (別紙様式第 10 号 : 表紙用)	A4サイズ of 用紙を使用し、和文の場合は、2,000字程度、英文の場合は、1,200語程度で記入し、(別紙様式第10号)を表紙として付けたものを、提出すること。	10 通 (正1 通・ 副 (コピー可) 9 通)
(6) 研究成果資料	著書、学術論文、学術報告、学術講演、特許等の研究業績を示す資料。	1 通
(7) 資格認定審査結果送 付用封筒 (本研究科所定の封 筒 : 長形 3 号)	所定の封筒に受取先住所・氏名・郵便番号を明記し、820円切手 (書留・速達を含む郵送料) を貼って提出すること。	1 通

#### 4-3) 提出期間

第 1 次	平成 28 年 6 月 15 日 (水) ~ 6 月 24 日 (金) まで (必着)
第 2 次	平成 28 年 11 月 14 日 (月) ~ 11 月 21 日 (月) まで (必着)

出願書類は、持参又は郵送とする。持参の場合の受付は、土、日曜日及び祝日を除く午前 9 時から午後 4 時までとする。

郵送の場合は、「書留・速達」(表に「入学試験出願資格認定願書在中」と朱書きすること。)とする。

#### 4-4) 認定結果

第 1 次	平成 28 年 7 月 8 日 (金) 以降に本人に通知する。
第 2 次	平成 28 年 12 月 1 日 (木) 以降に本人に通知する。

### 5. 出願手続

#### 提出書類

(1) 入学願書 (別紙様式第 1 号)	入学を志願する者...白色の用紙を使用 (別紙様式第 1 号) 進学を志願する者...緑色の用紙を使用 (別紙様式第 1 号-2)	1 通
(2) 検定料 : 30,000 円	同封の「振込依頼書①」「振込金 (兼手数料) 受領書②」「振込証明書③」にて、切り離す事なく、最寄りの銀行で振り込むこと (手数料は志願者の負担とする)。振り込み後、「振込証明書③」を入学願書に貼り付けること。 《ATM による振り込みは、不可》 ※平成29年3月に静岡大学大学院農学研究科、総合科学技術研究科又は岐阜大学大学院 (以下「構成国立大学法人」という。) の修士課程を修了し、引き続き本研究科に進学を志願するものは不要である。 ※日本国政府から奨学金を支給されている国費外国人留学生は不要である。 ただし、国費外国人留学生証明書を提出すること。	

(3) 履歴書 (別紙様式第2号)	本研究科所定の用紙に必要事項を記入後、提出すること。 ※外国人留学生は、小学校以降の学歴を記入すること。 (出願資格の認定申請をした者は不要)	1 通
(4) 学業成績証明書等 (原本に限る) ※TOEFL、TOEIC、日本語能力試験等、語学力を証明する公式認定証等を持つ者は、その写しも併せて提出すること。	下記の(ア)と(イ)の両方を提出すること。 (ア) 出身大学院が発行した学業成績証明書 ※証明書がない場合は別紙様式第3号にて提出。 (イ) 出身大学が発行した学業成績証明書	正各 1 通
	出身の短期大学その他の学校又は教育施設が発行した学業成績証明書	1 通 (該当者のみ)
(5) 写真	出願前3ヶ月以内に撮影したものを入学願書及び写真票の所定の箇所に貼付すること。 (上半身、脱帽、正面、縦4cm 横3cm のもの)	2 葉
(6) 修士課程修了(見込)証明書 又は最終学校の卒業証明書		1 通
(7) 修士論文等 (別紙様式第4号:表紙用)	ア. 修士課程修了者 a 修士論文の写し(論文がない場合はこれに代わるもの)	1 通
	b 修士論文概要 A4 サイズの用紙を使用して、和文の場合は、2,000字程度、英文の場合は、1,200語程度で記入し、本研究科の所定の用紙(別紙様式第4号)を表紙として付け提出すること。	5 通 (正1通・副(コピー可)4通)
	イ. 修士課程修了見込みの者 a 研究経過報告書(図表を含み、和文の場合は10,000字程度、英文の場合は6,000語程度)	1 通
	b 研究経過概要 A4 サイズの用紙(横書き)を使用して、和文の場合は、2,000字程度、英文の場合は、1,200語程度で記入し、本研究科の所定の用紙(別紙様式第4号)を表紙として付け提出すること。	5 通 (正1通・副(コピー可)4通)
	ウ. 本要項3.の出願資格(6)及び(7)に基づく志願者にあつては、修士学位相当の論文(1部)及びその概要5通(A4 サイズの用紙(横書き))を使用して、和文の場合は、2,000字程度、英文の場合は、1,200語程度で記入し、本研究科の所定の用紙(別紙様式第4号)を表紙として付け提出すること。)	修士学位相当論文1部 概要5通 (正1通・副(コピー可)4通)
(8) 研究計画書 (別紙様式第5号:表紙用)	どのような分野で、どのような内容のことを研究しようとしているのかが分かるもの(A4 サイズの用紙を使用して、和文の場合は2,000字程度、英文の場合は、1,200語程度で記入し、本研究科の所定の用紙(別紙様式第5号)を表紙として付け提出すること。)	5 通 (正1通・副(コピー可)4通)
(9) 推薦書 (別紙様式第6号)	出身大学院における指導教員又は官公庁、企業等の直接の指導者が作成したものを提出すること。	1 通
(10) 受験承諾書 (別紙様式第7号)	官公庁、企業等に在職している者は、所属長又は代表者の受験承諾書を提出すること。	1 通

(11) 出願資格認定通知書の写し	平成26年度、平成27年度に出願資格認定を受けた者で、引続き今年度出願する者は、出願資格認定通知書をコピーして提出すること。	1通 (該当者のみ)
(12) 住民票又はパスポートの写し (外国人志願者)	外国人の志願者は、市区町村の発行する在留資格が記載された住民票又は「短期滞在」査証の写しを提出すること。 住民票や「短期滞在」査証の写しがない場合は、本国の戸籍謄本又は市民籍等の証明書を提出すること。	1通
(13) 入学志願者の指導教員予定者 (別紙様式第11号)	出願手続き前に、あらかじめ希望する指導教員予定者に提出し、指導教員予定者が記入・押印したものを提出すること。	1通
(14) 受験票送付用封筒 (本研究科所定の封筒：長形3号)	所定の封筒に受取先住所・氏名・郵便番号を明記し、820円切手(書留・速達を含む郵送料)を貼って提出すること。	1通

注) 提出書類は、原則として日本語で記載すること。

## 6. 出願期間

第1次	平成28年7月15日(金)～7月22日(金)まで(必着)
第2次	平成28年12月12日(月)～12月22日(木)まで(必着)

出願書類は、持参又は郵送とし、持参の場合の受付は、土、日曜日及び祝日を除く午前9時から午後4時までとする。

郵送の場合は、「書留・速達」(表に「入学願書在中」と朱書きすること。)とする。

## 7. 選抜の方法

学力検査の成績、学業成績証明書及びその他必要と認める資料の総合判定により行う。

### (1) 筆記試験

ア. 外国語：英語。ただし、外国人志願者にあつては、英語に代えて日本語小論文又は英語小論文とすることができる。

イ. 専門科目：志願者が志望する主指導教員の受験専門科目(別表参照)

### (2) 口頭試問

修士論文又は修士論文相当の論文の内容及び研究計画書を中心とした口頭試問を行う。〔内容説明30分程度(液晶プロジェクター及びノートパソコン(Windows)使用可)、質疑応答30分程度〕

## 8. 試験の日時及び場所

第 1 次	平成 28 年 9 月 8 日 (木)	試験科目		時間	場所
		筆記試験	外国語	8 : 40 ～ 10 : 20	
第 2 次	平成 29 年 2 月 9 日 (木)			専門科目	10 : 40 ～ 12 : 40
		口頭試問		14 : 00 ～	

## 9. 合格発表

第1次	平成28年9月20日（火）	時間	備考
		正午	岐阜大学連合大学院研究科棟及び静岡大学農学総合棟に掲示するとともに、岐阜大学のホームページ（ <a href="http://www.gifu-u.ac.jp/">http://www.gifu-u.ac.jp/</a> ）にも掲載する。また、合格者には「合格通知書」，「入学承諾書用紙」（該当者のみ）を送付する。
第2次	平成29年2月22日（水）		

## 10. 障害を有する入学志願者の事前相談について

本研究科に入学を志願する者で、障害（次表参照）がある場合は、受験上及び修学上特別な配慮を必要とすることがあるので、あらかじめ本研究科と相談すること。

区 分	障 害 の 程 度
視 覚 障 害 者	両眼の視力がおおむね0.3未満又は視力以外の障害が高度なもので、拡大鏡等を使用しても文字等を認識することが不可能又は著しく困難な程度のもの
聴 覚 障 害 者	両耳の聴力レベルがおおむね60デシベル以上のもので、補聴器等を使用しても通常の話し声を理解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
肢 体 不 自 由 者	ア．肢体不自由の状態が、補装具を使用しても歩行等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの イ．前号の程度未満で、常時の医学的な観察指導を必要とする程度のもの
病 弱 者 「身体虚弱者を含む」	ア．疾患の状態（慢性の呼吸器系疾患等）が、継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもの イ．身体虚弱の状態が、継続して生活規制を必要とする程度のもの

\*学校教育法施行令第22条の3の規定に準拠した。

### (1) 相談時期

相談の内容によっては、対応に時間がかかり、特別措置が講じられないこともあるので、出願期間の始期の数日前までに相談すること。

### (2) 相談方法

下記事項を記載した書類（様式任意）を提出すること。

- ① 志望の専攻名、連合講座名、主指導教員予定者名
- ② 出身大学、学部、学科等の名称
- ③ 障害の種類・程度（医師の診断書が必要な場合がある。）
- ④ 受験上特別な配慮を希望する事項
- ⑤ 修学上特別な配慮を希望する事
- ⑥ 出身大学でとられていた特別措置
- ⑦ 日常生活の状況

## 1 1. 入学手続

### (1) 入学手続期間及び手続方法等

平成 29 年 2 月下旬（4 月入学）又は平成 29 年 7 月中旬（10 月入学）に「入学手続案内」を本人あて送付する。

### (2) 入学に要する経費

入学料 282,000 円（予定額）

\*入学手続時には、入学料の他、学生教育研究災害傷害保険料等が必要となる。詳細については、合格者あてに別途通知する。

\*平成 29 年 3 月に構成国立大学法人の修士課程を修了し、引き続き本研究科に進学する者は不要である。

\*入学料は予定額であり、改定が行われた場合には改定時から新たな金額が適用される。

## 1 2. 授業料

授業料（前期分） 267,900 円（年額 535,800 円）（予定額）

\*前期分の授業料は 5 月又は 11 月に口座振替にて納入する。詳細については、合格者あてに別途通知する。

\*日本国政府から奨学金が支給されている外国人留学生は入学料、授業料とも不要である。

\*授業料は予定額であり、改定が行われた場合には改定時から新たな金額が適用される。

## 1 3. 長期履修について

本研究科では、大学院設置基準第 15 条に定める「長期履修学生制度」（学生が、職業を有しているなどの事情により、修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的な教育課程を履修し、修了することを希望する旨を申し出たときは、その計画的な履修を認めることができるもの）を導入している。

この制度を希望する者は、出願期間中に申し出ること。

## 1 4. 注意事項

(1) 出願にあたっては、事前に入学を希望する教育研究分野の主指導教員予定者と相談すること。

(2) 出願書類は、出願書類受理後、いかなる理由があっても返還しない。出願書類の記載事項の変更も認めない。

(3) 出願書類に虚偽の記載があった者は、入学許可後であっても入学の許可を取り消すことがある。

## 15. 検定料について

(海外からの入学志願者)

日本国外からの志願者は検定料30,000円を次頁記載の口座へ振り込み、振り込んだ証拠書類に同封すること。なお、円為替取扱手数料、被仕向送金取扱手数料などの送金にかかるすべての手数料は、志願者の負担とする。

検定料総金口座【Bank Information】

THE JUROKU BANK,LTD

SWFIT:JUOJPJT

A/C with KURONO Branch

(Bank Branch Address:124-3 Oritate, Gifu City, Japan)

A/C No.:1361948

A/C Name:KOKURITSU-DAIGAKUHOZIN

GIFU DAIGAKU KENTEIRYOKOZA

(Gifu University Address: 1-1 Yanagido, Gifu City, Japan)

## 16. 検定料の返還について

(1) 次に該当した場合のみ、検定料を返還する。

- ① 出願書類が受理されなかった場合
- ② 検定料を誤って二重に納入した場合又は誤って所定の金額より多く納入した場合
- ③ 検定料を納入したが、出願書類を提出しなかった場合
- ④ 日本国政府国費外国人留学生が誤って納入した場合

(2) 返還請求の方法

上記に該当した場合は申し出ること。「検定料返戻請求書」に必要事項を記入の上、郵送すること。

## 17. 個人情報の取扱いについて

この出願書類に記載された氏名、住所等の個人情報は、本学における出願の事務処理、願書に不備があった場合の連絡、試験の実施、合格発表、合格された場合の入学手続関係書類の送付等のために利用し、その他の目的には利用しない。



# 推薦入試

## 1. 募集人員

5 ページ「1. 募集人員」を参照すること。

## 2. 入学時期

5 ページ「2. 入学時期」を参照すること。

## 3. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 岐阜大学大学院連合農学研究科教員の指導を受けて修士の学位を授与された者又は平成 29 年（2017 年）3 月末日（4 月入学希望者）又は 9 月末日（10 月入学希望者）までに授与される見込みの者
- (2) 岐阜大学又は静岡大学と協定を結んでいる海外の大学において理科系の修士の学位を授与された者又は授与される見込みの者
- (3) (1)、(2)以外で、理科系の修士の学位を授与された又は授与される見込みで、相応の学力研究能力を有すると確認できる者※

## 4. 出願手続

### 提出書類

(1) 入学願書 (別紙様式第 1 号)	入学を志願する者...白色の用紙を使用（別紙様式第 1 号） 進学を志願する者...緑色の用紙を使用（別紙様式第 1 号-2）	1 通
(2) 検定料：30,000 円	同封の「振込依頼書①」「振込金（兼手数料）受領書②」「振込証明書③」にて、切り離す事なく、最寄りの銀行で振り込むこと（手数料は志願者の負担とする）。振り込み後、「振込証明書③」を入学願書に貼り付けること。 《ATM による振り込みは、不可》 ※平成29 年3 月に静岡大学大学院農学研究科、総合科学技術研究科又は岐阜大学大学院（以下「構成国立大学法人」という。）の修士課程を修了し、引き続き本研究科に進学を志願するものは不要である。 ※日本国政府から奨学金を支給されている国費外国人留学生は不要である。 ただし、国費外国人留学生証明書を提出すること。	
(3) 履歴書 (別紙様式第 2 号)	本研究科所定の用紙に必要事項を記入後、提出すること。 ※外国人留学生は、小学校以降の学歴を記入すること。	1 通
(4) 学業成績証明書等 (原本に限る) ※TOEFL, TOEIC, 日本語能力試験等、語学力を証明する公式認定証等を持つ者は、その写しも併せて提出すること。	下記の（ア）と（イ）の両方を提出すること。 （ア）出身大学院が発行した学業成績証明書 ※証明書がない場合は別紙様式第 3 号にて提出。 （イ）出身大学が発行した学業成績証明書	正各 1 通
	出身の短期大学その他の学校又は教育施設が発行した学業成績証明書	1 通 (該当者のみ)

(5) 写真	出願前3ヶ月以内に撮影したものを入学願書及び写真票の 所定の箇所に貼付すること。 (上半身、脱帽、正面、縦4cm 横3cm のもの)	2 葉
(6) 修士課程修了（見込）証 明書 又は最終学校の卒 業証明書		1 通
(7) 修士論文等 (別紙様式第4号:表紙用)	ア. 修士課程修了者 a 修士論文の写し（論文がない場合はこれに代わるもの）	1 通
	b 修士論文概要 A4 サイズの用紙を使用して、和文の場合は、2,000字程度、 英文の場合は、1,200語程度で記入し、本研究科の所定の用 紙（別紙様式第4号）を表紙として付け提出すること。	5 通 (正1 通・ 副(コピー可) 4 通)
	イ. 修士課程修了見込みの者 a 研究経過報告書（図表を含み、和文の場合は10,000 字程 度、英文の場合は6,000 語程度）	1 通
	b 研究経過概要 A4 サイズの用紙を使用して、和文の場合は、2,000字程度、 英文の場合は、1,200語程度で記入し、本研究科の所定の用 紙（別紙様式第4号）を表紙として付け提出すること。	5 通 (正1 通・ 副(コピー可) 4 通)
(8) 研究計画書 (別紙様式第5号:表紙用)	どのような分野で、どのような内容のことを研究しようとし ているのかが分かるもの（A4 サイズの用紙を使用して、和 文の場合は2,000字程度、英文の場合は、1,200語程度で記入 し、本研究科の所定の用紙（別紙様式第5号）を表紙として 付け提出すること。）	5 通 (正1 通・ 副(コピー可) 4 通)
(9) 推薦書 (別紙様式第6号)	出身大学院における指導教員又は官公庁、企業等の直接の指 導者が作成したものを提出すること。	1 通
(10) 受験承諾書 (別紙様式第7号)	官公庁、企業等に在職している者は、所属長又は代表者の受 験承諾書を提出すること。	1 通
(11) 住民票又はパスポート の写し (外国人志願者)	外国人の志願者は、市区町村の発行する在留資格が記載され た住民票又は「短期滞在」査証の写しを提出すること。 住民票や「短期滞在」査証の写しがない場合は、本国の戸籍 謄本又は市民籍等の証明書を提出すること。	1 通
(12) 入学志願者の指導教員 予定者 (別紙様式第11号)	出願手続き前に、あらかじめ希望する指導教員予定者に提出 し、指導教員予定者が記入・押印したものを提出すること。	1 通
(13) 受験票送付用封筒 (本研究科所定の封筒:長 形3号)	所定の封筒に受取先住所・氏名・郵便番号を明記し、820円 切手（書留・速達を含む郵送料）を貼って提出すること。	1 通

注) 提出書類は、原則として日本語で記載すること。

※「3. 出願資格(3)」で出願する者は必ず提出すること。		
(14) 英語能力を証明する公 式認定証の写し	TOEFL, TOEIC 等の公式認定証の写し	1 通
(15) 研究成果資料	著書、学術論文、学術報告、学術講演、特許等の研究業績を 示す資料。	1 通

## 5. 出願期間

	「3.出願資格(1)、(2)」により出願する者	「3.出願資格(3)」により出願する者
第1次	平成28年7月15日(金)～ 7月22日(金)まで(必着)	平成28年6月15日(水)～ 6月24日(金)まで(必着) 推薦資格判定結果は、平成28年7月8日(金) 以降に本人に通知する。
第2次	平成28年12月12日(月)～ 12月22日(木)まで(必着)	平成28年11月14日(月)～ 11月21日(月)まで(必着) 推薦資格判定結果は、平成28年12月16日(金) 以降に本人に通知する。

出願書類は、持参又は郵送とし、持参の場合の受付は、土、日曜日及び祝日を除く午前9時から午後4時までとする。

郵送の場合は、「書留・速達」(表に「入学願書在中」と朱書きすること。)とする。

※上記の期間以外にも、追加募集を行うことがある。

## 6. 選抜の方法

口頭試問による学業検査の成績、学業成績証明書及びその他必要と認める資料の総合判定により行う。

修士論文又は修士論文相当の論文の内容及び研究計画書を中心とした口頭試問を行う。{内容説明30分程度(液晶プロジェクター及びノートパソコン(Windows)使用可)、質疑応答30分程度}

## 7. 試験の日時及び場所

第1次	平成28年9月8日(木)	試験科目	時間	場所
第2次	平成29年2月9日(木)	口頭試問	9:00～	岐阜大学大学院 連合農学研究科

## 8. 合格発表

第1次	平成28年9月20日(火)	時間	備考
第2次	平成29年2月22日(水)	正午	岐阜大学連合大学院研究科棟及び静岡大学農学総合棟に掲示するとともに、岐阜大学のホームページ( <a href="http://www.gifu-u.ac.jp/">http://www.gifu-u.ac.jp/</a> )にも掲載する。また、合格者には「合格通知書」、「入学承諾書用紙」(該当者のみ)を送付する。

## **9. 障害を有する入学志願者の事前相談について**

10ページ「10. 障害を有する入学志願者の事前相談について」を参照すること。

## **10. 入学手続**

11ページ「11. 入学手続」を参照すること。

## **11. 授業料**

11ページ「12. 授業料」を参照すること。

## **12. 長期履修について**

11ページ「13. 長期履修について」を参照すること。

## **13. 注意事項**

11ページ「14. 注意事項」を参照すること。

## **14. 検定料について**

12ページ「15. 検定料について」を参照すること。

## **15. 検定料の返還について**

12ページ「16. 検定料の返還について」を参照すること。

## **16. 個人情報の取扱いについて**

12ページ「17. 個人情報の取扱いについて」を参照すること。



# 外国人特別入試

## **1. 募集人員**

5 ページ「1. 募集人員」を参照すること。

## **2. 入学時期**

5 ページ「2. 入学時期」を参照すること。

## **3. 出願資格**

修士の学位を授与された者及び平成 29 年（2017 年）3 月末日（4 月入学希望者）又は 9 月末日（10 月入学希望者）までに授与される見込みの者で、次の各号のいずれにも該当する者。

- ① 外国人留学生として、新たに海外から留学する者及び在日中の者で入学後 3 年以内に学位取得ができる優秀な者
- ② 各国の大学（特に構成大学の学術協定締結大学）、官公庁、企業又は団体の所属長から推薦された者
- ③ 英語能力が十分な者

#### 4. 出願・試験日程

	期 日	*特 例	備 考
出 願	平成 28 年 5 月 2 日 (月) ～5 月 31 日 (火)	平成 28 年 6 月 1 日 (水) ～ 平成 29 年 5 月 31 日 (水)	在学生は所属大学研究科長、有職者は所属長、その他の者は出身大学の研究科長を通じて、岐阜大学大学院連合農学研究科連合農学係へ提出すること。
試 験	平成 28 年 6 月 16 日 (木) ～ 6 月 30 日 (木)	平成 28 年 7 月 1 日 (金) ～ 平成 29 年 6 月 30 日 (金)	岐阜大学、志願者の出身大学及び入試委員会が定める所定の場所において、「6.選抜の方法」で定められた方法で面接を行う。
合格発表	平成 28 年 7 月 15 日 (金) 正午	試験後 30 日以内に通知 する	岐阜大学連合大学院研究科棟及び静岡大学農学総合棟に掲示するとともに、岐阜大学のホームページ ( <a href="http://www.gifu-u.ac.jp/">http://www.gifu-u.ac.jp/</a> ) に掲載する。 *特例は岐阜大学大学院連合農学研究科のホームページ ( <a href="http://www1.gifu-u.ac.jp/~rendai/">http://www1.gifu-u.ac.jp/~rendai/</a> ) に掲載する。 また、合格者には「合格通知書」、「入学承諾書用紙」(該当者のみ)を送付する。

\*特例として、以下の者は、随時受験することができる。

①コンソーシアム加盟大学の理科系の修士課程を修了又は修了見込みの者

②コンソーシアム加盟大学に在職中の者

<p>コンソーシアム加盟大学</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ダッカ大学(バングラデシュ) ・広西大学(中国) ・アッサム大学(インド)</li> <li>・インド工科大学グワハティ校(インド) ・アンダラス大学(インドネシア)</li> <li>・ボゴール農科大学(インドネシア) ・ガジャマダ大学(インドネシア) ・バンドン工科大学(インドネシア)</li> <li>・スブラス・マレット大学(インドネシア) ・ランボン大学(インドネシア) ・チュラロンコン大学(タイ)</li> <li>・カセサート大学(タイ) ・モンクット王トンプリ工科大学(タイ) ・ハノイ工科大学(ベトナム)</li> <li>・チュイロイ大学(ベトナム)</li> </ul> <p style="text-align: right;">(平成28年4月現在)</p>
---

③本研究科において特別に認められた者

## 5 . 出願手続

### 提出書類

(1) 入学願書 (別紙様式第 1 号・3)		1 通
(2) 検定料納入証明	検定料 30,000 円を、指定の口座へ振り込み、振り込んだ証拠書類の写しを提出すること。なお、円為替取扱手数料、被仕向送金取扱手数料などの送金にかかるすべての手数料は、志願者の負担とする。	1 通
(3) 履歴書 (別紙様式第 2 号)	本研究科所定の用紙に必要事項を記入後、提出すること。	1 通
(4) 学業成績証明書 (原本に限る)	出身大学及び大学院の成績証明書	正各1 通
(5) 英語能力を証明する公式認定証の写し	TOEFL, TOEIC 等の公式認定証の写し	1 通
(6) 写真	出願前 3 ヶ月以内に撮影したものを入学願書及び写真票の所定の箇所に貼付すること。 (上半身、脱帽、正面、縦 4cm 横 3cm のもの)	2 葉
(7) 修士課程修了（見込）証明書 又は最終学校の卒業証明書		1 通
(8) 修士論文等 (別紙様式第 4 号：表紙用)	ア．修士課程修了者 a 修士論文の写し（論文がない場合はこれに代わるもの）	1 通
	b 修士論文概要 A4 サイズの用紙を使用して、和文の場合は、2,000 字程度、英文の場合は、1,200 語程度で記入し、本研究科の所定の用紙（別紙様式第 4 号）を表紙として付け提出すること。	5 通 (正1 通・副(コピー可) 4 通)
	イ．修士課程修了見込みの者 a 研究経過報告書(図表を含み、和文の場合は 10,000 字程度、英文の場合は 6,000 語程度)	1 通
	b 研究経過概要 A4 サイズの用紙を使用して、和文の場合は、2,000 字程度、英文の場合は、1,200 語程度で記入し、本研究科の所定の用紙（別紙様式第 4 号）を表紙として付け提出すること。	5 通 (正1 通・副(コピー可) 4 通)
(9) 研究計画書 (別紙様式第 5 号：表紙用)	どのような分野で、どのような内容のことを研究しようとしているのかが分かるもの（A4 サイズの用紙を使用して、和文の場合は2,000字程度、英文の場合は、1,200語程度で記入し、本研究科の所定の用紙（別紙様式第5 号）を表紙として付け提出すること。）	5 通 (正1 通・副(コピー可) 4 通)
(10) 推薦書 (別紙様式第 6 号)	出身大学院における指導教員又は官公庁、企業等の直接の指導者が作成したものを提出すること。	1 通
(11) 受験承諾書 (別紙様式第 7 号)	官公庁、企業等に在職している者は、所属長又は代表者の受験承諾書を提出すること。	1 通
(12) 住民票又はパスポートの写し	市区町村の発行する在留資格が記載された住民票又は「短期滞在」査証の写しを提出すること。 住民票や「短期滞在」査証の写しがない場合は、本国の戸籍謄本又は市民籍等の証明書を提出すること。	1 通
(13) 入学志願者の指導教員予定者 (別紙様式第11 号)	出願手続き前に、あらかじめ希望する指導教員予定者に提出し、指導教員予定者が記入・押印したものを提出すること。	1 通

## 6. 選抜の方法

面接の成績、学業成績証明書及びその他必要と認める資料の総合判定により行う。

面接（対面）又はインターネット面接

原則として3人の研究科教員と対面形式の面接を行うが、事情によっては、出身大学等においてテレビ会議システムを使用したテレビ面接を行うか、電子メールによる質疑応答を行う。

※電子メールによる質疑応答の方法

- ・電子メールによる質疑応答は、最初に主指導教員予定者から入学志願者へ、入学願書に記入されたメールアドレスに対してメールにて連絡を行う。
- ・志望専攻等に所属する3人の教員により、各教員3回以上（合計9回以上）メールの交信方法により実施する。

## 7. 障害を有する入学志願者の事前相談について

10ページ「10. 障害を有する入学志願者の事前相談について」を参照すること。

## 8. 入学手続

11ページ「11. 入学手続」を参照すること。

## 9. 授業料

11ページ「12. 授業料」を参照すること。

## 10. 長期履修について

11ページ「13. 長期履修について」を参照すること。

## 11. 注意事項

11ページ「14. 注意事項」を参照すること。

## 12. 検定料について

12ページ「15. 検定料について」を参照すること。

## 13. 検定料の返還について

12ページ「16. 検定料の返還について」を参照すること。

## 14. 個人情報の取扱いについて

12ページ「17. 個人情報の取扱いについて」を参照すること。



# 岐阜大学大学院連合農学研究科の概要

## (後期 3 年のみの博士課程)

## 1. 設置の趣旨

静岡大学、岐阜大学及び信州大学の各大学の農学研究科\*が有機的に連合することによって、特徴のある教育・研究組織を編成し、生物生産、生物環境及び生物資源に関する諸科学について高度の専門的能力と豊かな学識、広い視野をもった研究者及び専門技術者を養成し、農学の進歩と生物資源関連産業の発展に寄与し、さらに、農林畜水産分野の人材養成を切望する海外からの要請にも応えて、高度の学術・技術の修得を希望する外国人留学生を積極的に受入れ、諸外国における農学及び関連産業の発展にも寄与しようとするものである。本研究科の教育・研究組織は、中部地区の環境、立地など農学及び産業に関連する諸要因を考慮し、産学共同によって、中部地区の発展にも貢献するものである。

\*平成22年度からは、静岡大学及び岐阜大学の2大学による構成となる。

## 2. 専攻の内容

### (1) 生物生産科学専攻

作物の肥培管理及び家畜の飼養管理、動植物の栄養、保護、遺伝育種、生産物の利用、農林畜産業の経営、経済及び物的流通に関する諸分野を総合し、第1次産業としての植物及び動物の生産から消費者への供給に至るまでの全過程に関する学理と技術に関する諸問題を教育・研究する。

### (2) 生物環境科学専攻

生物生産の基礎となる農地及び林野を造成し、これを良好な状態に維持し、災害を防ぎ、荒廃から守ることは現時点においても長期的展望からもなおざりにできない重要課題である。特に、最近国際的にも種々の角度から論議されている地球規模の環境問題には、農業の領域に含まれるものが少なくないことには注目しなければならない。この分野には、無機的環境に関する諸問題を物理的及び化学的手法によって考究する側面と、その環境に生息する生物群集に関する諸問題を、生態学的しくみに基づいて解明する側面とがある。

### (3) 生物資源科学専攻

動物、植物、微生物等の生物資源とその生産基盤である土壌について、その組織・構造・機能を物理化学、化学、生化学、生物学など多面的、総合的立場から解析することによって、生物資源並びに生命機能に関する学理を究め、さらに生物工学の基礎研究を行い、未利用資源を含めた生物資源の構造と機能の解明、より高度な加工・利用、新機能の創生及び廃棄物処理に関する原理と技術について教育・研究する。

### 3. 教育上の特色

- (1) 学生は、構成国立大学法人に所属する教員の中から自己が主指導教員についての希望を申し出る。本研究科はこれを調整のうえ、学生の主指導教員及び研究を行う専門分野を決定する。
- (2) 指導教員は、学生1人につき主指導教員1人と副指導教員2人を充てる。従って、学生1人に3人の教員が指導に当たる。
- (3) 学生は、主指導教員が専任として在職する構成国立大学法人に配置され、研究指導を受けるが、他の構成国立大学法人の施設・設備も利用できる。

### 4. 修了要件・学位

本研究科の修了要件は、3年以上在学したうえ、定める単位を修得し、かつ、学位論文の審査及び最終試験に合格したものとする。修了した者には「博士（農学）」の学位を授与する。ただし、特に優れた研究業績を上げた者の在学期間については、短縮されることがある。

修了に必要な最低修得単位数は、12単位とする。うち8単位は必修科目を受講し、残りの4単位を選択科目から修得する。

### 5. 専攻名と連合講座の概要

専 攻	連合講座	概 要
生物生産科学	植物生産管理学	植物の生産から消費者への供給までの過程における諸分野の教育と研究を主として担当する。この過程は、播種から収穫に至る生産部門と、出荷から消費者までの流通部門、生物生産に関する経営・経済部門の3つの部門からなる。生産・流通部門では、生物工学や農学エレクトロニクス等の先端技術を取り入れ、遺伝資源の保全、植物の遺伝的改良、種苗生産、肥培管理に至る生産技術及び収穫物の流通技術、流通の仕組み等に関する教育・研究を行う。また経営・経済部門では、生物生産の生産性、収益性の持続的向上と農山村生活の改善等に関する教育・研究を行う。
	動物生産利用学	人類の福祉に直接または間接に貢献する各種動物の生産に関する学理を究め、新技術の開発・確立・利用を図るとともに、高度かつ広範な視野に立って、動物の生産機能、飼料の有効利用、飼養管理の適正化等、動物の生産性を支配する諸事項について教育・研究する。特に、動物の成長、繁殖、発生に対する生物工学の適用並びに飼料の利用性及び飼養管理技術の向上のための情報処理に重点を置く。

専 攻	連合講座	概 要
生物環境科学	環境整備学	植物生産の基礎としての林野及び農地における土環境、水環境、生活環境、地域環境等を主として工学的・計画的的手法によって整備し、植物生産の拡大・安定化と生産性の向上の基盤をつくるため及び機械による作業の効率化のための学理と技術について教育と研究を行う。具体的には、林野、農地及び生活環境の保全、防災、開発、改良、整備、関連施設の構築、機械の開発及び利用等を通じて国土資源の長期的有効利用を図り、植物生産の基盤と生活環境を確立する。
	生物環境管理学	農地、林野及びそれらを取り巻く空間における生態系の構造と機能を解明し、時々刻々変化する無機的及び有機的環境条件下における生態系の変遷を生物学的に把握する。その一方でそのような生態系の仕組みに基づく保全と有効利用の原理と方策について、他方において植物保護、人工環境下における栽培及び環境調節装置・機械の理論と応用について教育・研究する。
生物資源科学	生物資源利用学	生物資源の生理的、化学的、理化学的特性など基礎的事項を研究し、生物資源を食糧資源、エネルギー資源など様々な資源や資材として利用するために必要な学理を生理学、生化学、化学、物理学、工学など幅広い視点から究明し、この学理に基づいて未利用資源も含めた生物資源をより高度に加工・利用・保蔵する技術を開発・改良し、衣、食、住並びに生活環境の改善、生物資源のエネルギー化・飼肥料化、有効還元利用並びに廃棄物処理について教育・研究する。
	スマートマテリアル科学	各種天然物質や合成物質を構成する様々な物質の構造や機能を、化学分析的手法や化学合成的手法を用いて、原子、分子、細胞、組織など異なったレベルで解明するとともに、それらの物質間の相互作用、分子情報伝達機構、生理活性発現機構などを明らかにし、生命現象の化学的原理を究明する。これらの原理に基づいて、化学的手法により、生物資源をより高度に利用したり新しい生理機能をもつ物質を開発したりする技術に関して教育・研究を行う。
	生物機能制御学	蛋白質、核酸をはじめとする生体機能高分子、培養細胞並びに微生物の性質、構造、機能を解析し、生物機能とその制御・利用に関する学理を究明する。この学理に基づいて動物、植物、微生物のもつ代謝調節機能、生産機能を増強・改善したり、有用な生物生産系を開発するための基礎的研究を行い、これらを基盤に遺伝子組換え、細胞融合、細胞培養、酵素・微生物固定化などのバイオテクノロジーを駆使した生物生産技術について教育・研究を行う。

主指導教員となり得る者の教育研究分野・受験専門科目一覧

専攻	連 合 講 座	主指導教員 氏名(所属)	教 育 研 究 分 野		受験専門科目
			名 称	内 容	
生 物 生 産 科 学	植物生産管理学	松 原 陽 一 (岐阜大学)	野 菜 園 芸 学	野菜に関する生物生理学的理論と、持続可能型・環境ストレス耐性型栽培への応用	野 菜 園 芸 学
		鈴 木 克 己 (静岡大学)	施設野菜園芸学	施設園芸での野菜の高品質安定生産に関する研究	施設野菜園芸学
		福 井 博 一 (岐阜大学)	園芸植物生理学	園芸植物の発育生理学理論と園芸生産への応用	園芸植物生理学
		八 幡 昌 紀 (静岡大学)	果 樹 園 芸 学	果樹の結実生理および染色体工学的手法を用いた高品質果樹の開発	果 樹 園 芸 学
		嶋 津 光 鑑 (岐阜大学)	植物環境制御学	植物生産に関する環境制御技術の開発および環境制御技術の植物科学研究への応用	植 物 生 産 工 学
		大 場 伸 也 (岐阜大学)	植物生育診断学	資源植物の遺伝的・生化学的解析と耕地生態学による生産技術の改善	植物生態生理学
		前 澤 重 禮 (岐阜大学)	食 品 流 通 シ ス テ ム 学	食品流通の仕組みに関する実証的研究	食 品 流 通 学
		山 脇 和 樹 (静岡大学)	園芸食品利用学	収穫した果実、野菜の品質を保持し向上させる技術の開発	園芸食品利用学
		中 野 浩 平 (岐阜大学)	ポストハーベスト工学	農産物の品質保持理論の構築と流通技術への応用	ポストハーベスト工学
		加 藤 雅 也 (静岡大学)	収 穫 後 生 理 学	収穫後の園芸作物における生理学・生化学・分子生物学	収 穫 後 生 理 学
		荒 幡 克 己 (岐阜大学)	農 業 経 営 学	農業及びフードシステム関連企業の経営行動、産業組織の経済分析	農 業 経 営 学
		荒 井 聡 (岐阜大学)	農 業 経 済 学	地域農業経済と農業政策に関する理論的・実証的研究	農 政 学
		富 樫 幸 一 (岐阜大学)	地域産業経営論	地域産業と地域づくりに関する研究	地域産業政策論
		柴 垣 裕 司 (静岡大学)	農 業 経 営 学	農業協同組合及び農業金融に関する理論と応用	農業経営経済学
	動物生産利用学	笹 浪 知 宏 (静岡大学)	動 物 生 理 化 学	鳥類の卵膜形成および受精の分子機構に関する研究	動 物 生 理 学
		高 坂 哲 也 (静岡大学)	動物生殖生理学	哺乳動物の繁殖科学と生殖機能調節物質の分子生理学的研究	家 畜 繁 殖 学
		鳥 山 優 (静岡大学)	細 胞 生 物 学	ウニ卵細胞の分裂機構に関する研究	分子細胞生物学
		与 語 圭一郎 (静岡大学)	動物生殖生理学	哺乳動物の生殖科学と生殖細胞の形成・分化機構	生 殖 生 物 学
		岩 澤 淳 (岐阜大学)	動物内分泌化学	動物の内分泌と代謝に関する生化学的研究	動物内分泌化学
		松 村 秀 一 (岐阜大学)	動 物 遺 伝 学	動物の遺伝的多様性と進化に関する研究	動物分子遺伝学
		土 井 守 (岐阜大学)	動 物 繁 殖 学	動物の繁殖生理と人工繁殖	動物繁殖生理学
		八代田 真人 (岐阜大学)	動物栄養生態学	反芻家畜の栄養生態とその家畜生産への応用	動 物 栄 養 学
		山 本 朱 美 (岐阜大学)	動 物 栄 養 学	単胃家畜の効率生産と栄養生理に関する研究	動 物 栄 養 学
		二 宮 茂 (岐阜大学)	動 物 管 理 学	応用動物行動学とアニマルウェルフェア	動物福祉行動学
		古 屋 康 則 (岐阜大学)	動物生殖生物学	魚類の生殖器官の機能形態と繁殖行動から見た生殖様式の進化に関する研究、および増養殖への応用	動物生殖生物学

専攻	連 合 講 座	主指導教員 氏名(所属)	教 育 研 究 分 野		受験専門科目
			名 称	内 容	
生 物 環 境 科 学	環 境 整 備 学	千 家 正 照 (岐阜大学)	灌 漑 排 水 学	水資源の管理と有効利用に関わる理論と応用	灌 漑 排 水 学
		平 松 研 (岐阜大学)	環 境 水 理 学	農村地域の水環境整備と水域生態系保全に関する研究	環 境 水 理 学
		大 西 健 夫 (岐阜大学)	水 文 学	地球上の水・物質循環の機構および人間活動がそれに及ぼす影響の評価	水 文 学
		伊 藤 健 吾 (岐阜大学)	水 圏 環 境 学	水田における水環境の制御と水田生態系の保全	応 用 生 態 工 学
		西 村 眞 一 (岐阜大学)	農 業 造 構 学	農業水利構造物の安全性と有効利用に関する研究	農 業 造 構 学
		今 泉 文 寿 (静岡大学)	砂 防 工 学	山地における土砂と水の移動過程と流域管理	砂 防 工 学
	生 物 環 境 科 学	松 井 勤 (岐阜大学)	作 物 栽 培 学	持続可能な作物生産に関する研究	作 物 栽 培 学
		土 田 浩 治 (岐阜大学)	昆 虫 生 態 学	昆虫個体群内の遺伝的変異性に関する研究	昆 虫 生 態 学
		向 井 貴 彦 (岐阜大学)	生 物 地 理 学	生物の地理的多様性の形成と維持機構および保全に関する研究	生 物 地 理 学
		田 上 陽 介 (静岡大学)	応 用 昆 虫 学	昆虫共生系を利用した害虫の生物的防除技術開発	昆虫共生生物学
		景 山 幸 二 (岐阜大学)	植 生 管 理 学	土壌微生物の分子生態学、土壌微生物による環境評価	土 壌 微 生 物 生 態 学
		須 賀 晴 久 (岐阜大学)	分子植物病理学	植物病原菌の進化、生態ならびに病原性機構に関する研究	分子植物病理学
		津 田 智 (岐阜大学)	植 物 生 態 学	植物群落の組成や構造と成立のメカニズムを解明	植 物 生 態 学
		澤 田 均 (静岡大学)	応 用 生 態 学	植物の集団生物学と被食ストレス、攪乱への適応	応 用 生 態 学
		山 下 雅 幸 (静岡大学)	生 態 遺 伝 学	外来植物および雑草の侵入生態学的研究	侵 入 生 態 学
		稲 垣 栄 洋 (静岡大学)	農 業 生 態 学 ・ 雑 草 科 学	農村の生物多様性評価と雑草の生態的管理に関する研究	雑 草 学
		向 井 讓 (岐阜大学)	森 林 遺 伝 学	樹木の繁殖特性と遺伝的多様性維持機構の解析	集団遺伝学および生態生理学
		川 窪 伸 光 (岐阜大学)	植物進化生態学	顕花植物の形態進化と送粉生態学的研究	進 化 生 物 学
		大 塚 俊 之 (岐阜大学)	生 態 系 生 態 学	生態系の炭素循環と炭素吸収能力に関する研究	陸 上 生 態 系 の 炭 素 循 環
		水 永 博 己 (静岡大学)	造 林 学	森林生態系の修復・育成に関する研究	森林生態系管理
		栗 屋 善 雄 (岐阜大学)	森林環境管理学	植生リモートセンシングと森林管理	生 態 系 計 測 学
		村 岡 裕 由 (岐阜大学)	植生生理生態学	植物個体から生態系スケールに至る生理生態学的研究	植生生理生態学
		石 田 仁 (岐阜大学)	山 地 管 理 学	森林の施業、更新、山地植生モニタリング	山 地 管 理 学
		魏 永 芬 (岐阜大学)	環 境 計 測 学	流域における物質動態の計測評価	環 境 計 測 学

専攻	連 合 講 座	主指導教員 氏名(所属)	教 育 研 究 分 野		受験専門科目
			名 称	内 容	
生 物 資 源 科 学	生物資源利用学	光 永 徹 (岐阜大学)	植物成分機能化学	植物二次代謝成分の構造解析と生理機能の解明に関する研究	天 然 物 化 学
		寺 本 好 邦 (岐阜大学)	バ イ オ マ ス 材 料 化 学	バイオマス構成分子を機能材料に変換するための教育研究	バ イ オ マ ス 材 料 化 学
		柳 瀬 笑 子 (岐阜大学)	生 物 有 機 化 学	ポリフェノール類の単離構造決定とその化学反応性に関する研究	生 物 有 機 化 学
		河 合 真 吾 (静岡大学)	リ グ ニ ン 生 化 学	リグニン及び関連化合物の生合成および生分解とその有効利用	リ グ ニ ン 生 化 学
		小 島 陽 一 (静岡大学)	木質バイオマス科学	木質バイオマス資源の有効活用に関する研究	木質バイオマス科学
		釜 谷 保 志 (静岡大学)	環 境 毒 性 学	化学物質の生態系影響に関する研究	生 態 毒 性 学
		岩 本 悟 志 (岐阜大学)	食 品 物 性 工 学	食品分散系の相変化・形態変化を利用した食品の高付加価値化に関する研究	食品コロイド科学
		西 津 貴 久 (岐阜大学)	食 品 加 工 学	食品製造プロセスの工学的解析と食品物性に関する基礎的研究	食 品 製 造 工 学
		矢 部 富 雄 (岐阜大学)	糖 質 生 化 学	糖鎖構造と機能に関する研究	糖 鎖 生 物 学
	スマートマテリアル科学	石 田 秀 治 (岐阜大学)	糖 鎖 工 学	生理活性複合糖質の化学・生物学的研究	化 学 生 物 学
		安 藤 弘 宗 (岐阜大学)	糖 鎖 関 連 化 学	糖鎖関連分子の化学合成と機能解明および医薬への応用	糖鎖創製応用化学
		今 村 彰 宏 (岐阜大学)	応 用 糖 質 化 学	生理活性複合糖質および高機能化糖関連分子の有機化学的創製と応用研究	応 用 糖 質 化 学
		※ 亀 山 昭 彦 (岐阜大学)	糖 鎖 解 析 学	糖鎖の構造機能解析と医薬および診断薬への応用	複合糖質分析化学
		上 野 義 仁 (岐阜大学)	核 酸 化 学	機能性核酸の化学合成と工学及び医学的応用	遺伝子有機化学
		吉 松 三 博 (岐阜大学)	生 命 有 機 化 学	新規な合成法を利用した生理活性物質の創製とその生体機能	有 機 化 学

※客員教授であり、主な研究活動の場合は国立研究開発法人産業技術総合研究所（連携機関）である。

専攻	連 合 講 座	主指導教員 氏名(所属)	教 育 研 究 分 野		受験専門科目
			名 称	内 容	
生 物 資 源 科 学	生物機能制御学	中 川 寅 (岐阜大学)	応 用 生 化 学	酵素・タンパク質の生化学・分子細胞生物学、並びにその応用	応 用 生 化 学
		岩 橋 均 (岐阜大学)	応 用 微 生 物 学	微生物および高等生物ストレス応答機構の解明と利用	OMICS生物学
		鈴 木 徹 (岐阜大学)	ゲノム微生物学	ゲノムレベルから見た新しい微生物像の構築とその応用	ゲノム微生物学
		中 村 浩 平 (岐阜大学)	微生物分子生態学	嫌気性微生物の生態とその応用	微生物分子生態学
		小 川 直 人 (静岡大学)	環 境 微 生 物 学	環境微生物の機能の解明	環 境 微 生 物 学
		清 水 将 文 (岐阜大学)	植 物 病 理 学	有用微生物を利用した植物病害の生物防除および植物生長の制御	植 物 病 理 学
		※ 千 葉 靖 典 (岐阜大学)	微 生 物 糖 科 学	微生物を活用した物質と糖タンパク質の生産に関する研究	微 生 物 糖 科 学
		早 川 享 志 (岐阜大学)	食 品 栄 養 学	水溶性ビタミンや難消化性食品成分の栄養機能の解析	栄 養 機 能 化 学
		中 川 智 行 (岐阜大学)	食 品 栄 養 学	酵母の分子育種と細胞機能の解明、新規食品産業用酵素の開発	食 品 微 生 物 学
		海老原 章 郎 (岐阜大学)	酵 素 科 学	酵素の構造と機能に関する研究	酵 素 科 学
		長 岡 利 (岐阜大学)	機 能 性 食 品 学	食品成分の生体調節機能に関する生化学・分子生物学	機 能 性 食 品 学
		森 田 明 雄 (静岡大学)	植 物 栄 養 学	植物及び植物細胞の栄養生理学	植 物 栄 養 学
		小 山 博 之 (岐阜大学)	植 物 細 胞 工 学	不良土壌耐性機構の分子生理学と分子育種に関する研究	植 物 細 胞 工 学
		山 本 義 治 (岐阜大学)	植物ゲノム科学	植物の環境適応機構とその進化	植物ゲノム科学

※客員教授であり、主な研究活動の場合は国立研究開発法人産業技術総合研究所（連携機関）である。

## **UGSAS-GU Admission Policy**

The United Graduate School provides unique educational programs with a wide variety of subjects under the credit-based system and doctoral dissertation research guidance by multiple supervisors through the synergistic linkage mainly between the Graduate School of Integrated Science and Technology, Shizuoka University and the Graduate School of Applied Biological Science, Gifu University.

The principles of agricultural science are: in an ecological system called Earth, to preserve environment; to develop comprehensive scientific technologies and cultures based on the production of foods and biological materials; and to contribute to the existence and welfare of mankind. Agricultural science is an integrated science based on the relationship between biological production, which is essential to human life, and human society, consisting mainly of biological science, biological resources science, environmental science, life science and social science. (in Charter of Agricultural Science, Japan, 2002)

The Graduate School aims to cultivate researchers and professional engineers/technologists with highly professional ability, abundant academic knowledge and a broad perspective of science related to Biological (animals, plants, and microbial products) Resources, Biological Environment and Biological Resources, and thereby to contribute to the advancement of agricultural science and development of biological-resources-related industries. The Graduate School provides education to allow students to acquire extensive knowledge of agricultural science and to conduct a research on a given subject and seek a solution, and furthermore to develop the ability to solve problems and the ability to discover research subjects that can be exercised in the boundary fields and multidisciplinary fields. The Graduate School also welcomes overseas applicants who are willing to learn and acquire advanced agricultural technologies and science.

### **Students the UGSAS-GU seeks:**

1. Individuals who are willing to understand the integrate nature of agricultural science based on the existence of mankind and to contribute to the local community and society.
2. Individuals who are willing to set research subjects on their own and to challenge such research subjects.
3. Individuals who are willing to absorb not only professional knowledge but also a wide range of knowledge.
4. Individuals who have strong ethics and are able to exercise their leadership skills in the agricultural science and other relevant fields.
5. Individuals who are willing to play an active role on the global stage and have necessary basic ability.

## **Admission policy of each course**

### **Science of Biological Production**

The course of Science of Biological Production concerns academic theories and technologies related to the entire process of biology-related industries, from the production of plants and animals within primary sector to processing, distributing and supplying to consumers. Therefore, the course seeks individuals who are interested in, from a comprehensive standpoint, various issues related to these academic theories and technologies, including management of fertilization of crops, management of animal feeding, protection of animals and plants, breeding and genetics of animals and plants, utilization of biological products, and management, economics and logistics of agricultural, forestry and livestock businesses, and have a willingness to conduct research related to such issues needed by society.

### **Science of Biological Environment**

The course of Science of Biological Environment seeks individuals who wish to master academic theories on various issues related to natural environment, which is the basis of relationship between global environment and living organism and biological production in agricultural, forestry and other relevant industries, through ecological, biological, physical and chemical methods.

The course also seeks individuals who have a desire to contribute to society through conducting research on the principles and technologies related to the management of sustainable biological resources and preservation of forestry ecosystem and cultivated ecosystem.

### **Science of Biological Resources**

The fundamental academic theories concerning biological resources and vital functions will be understood and mastered by analyzing organization, structure and functions of animals, plants, microorganism and other biological resources and their production base, i.e., soil from a perspective of physical chemistry, organic chemistry, biochemistry, molecular biology and cell biology in a multifaceted and comprehensive manner. Therefore, the course of Science of Biological Resources seeks individuals who wish to undertake such analytical research to master aforementioned fundamental academic theories and wish to understand principles and acquire technologies related to application of such fundamental academic theories to more advanced use of biological resources including untouched natural resources, creation of new functional materials and improvement of environment.

## Admissions Overview

The UGSAS-GU offers three types of admissions.

### 《General Admission》 (Refer to Page 35 – 45 for the details)

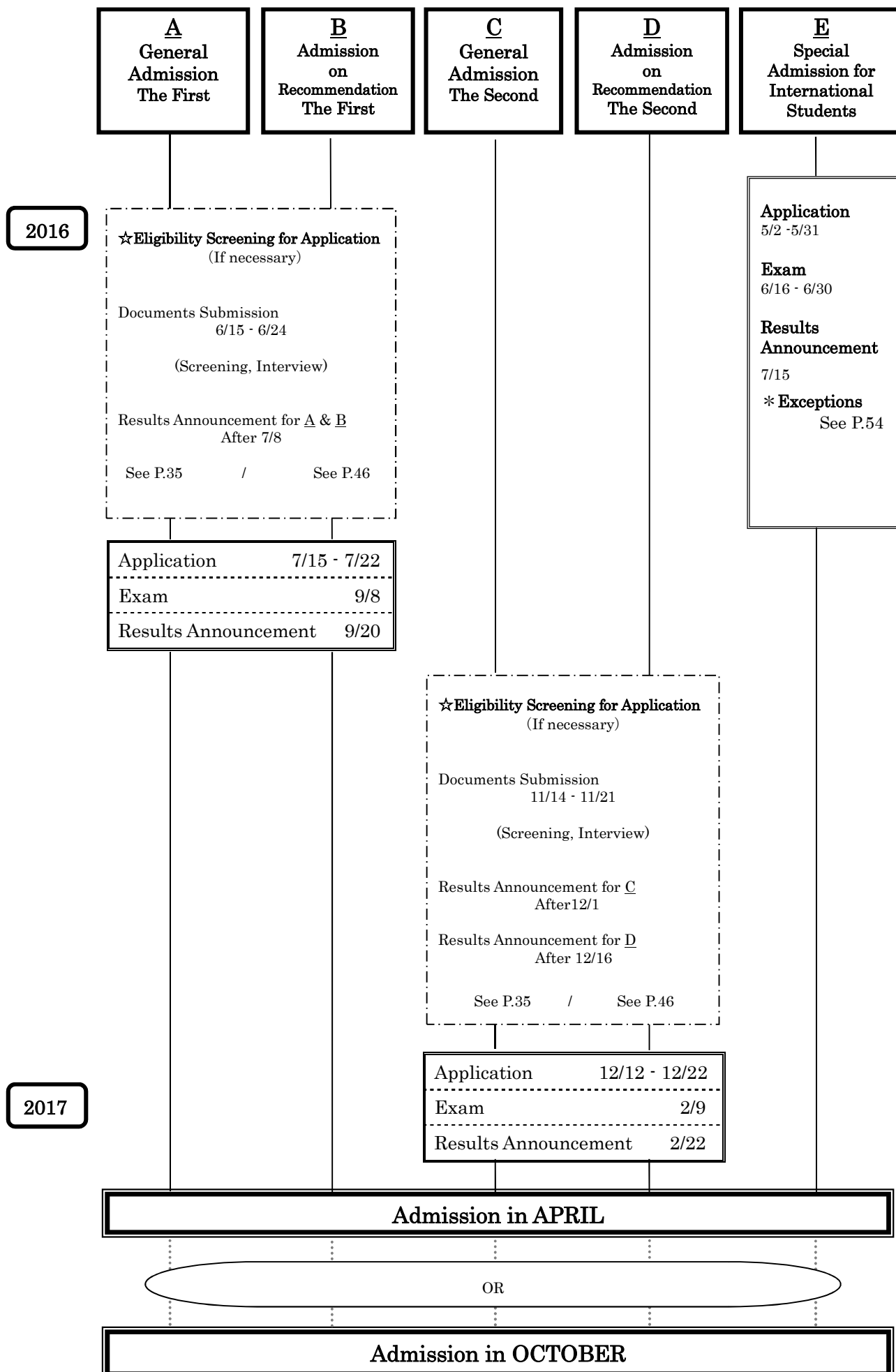
- Those who have a Master's degree / are expected to complete a Master's Course, or those who are awarded a degree equivalent or superior to a Master's degree are eligible to apply.
- The entrance exam (Written Exam and Interview) for this admission is conducted twice a year in September and February.

### 《Admission on Recommendation》 (Refer to Page 46 – 51 for the details)

- Any one of the following qualifications is necessary for admission:
  - a. Those who have / are expected to be conferred a Master's degree under the supervision of faculty staff belong to The United Graduate School of Agricultural Science, Gifu University by March 31, 2017 (for entry in April, 2017) or September 30, 2017 (for entry in October, 2017).
  - b. Those who have / are expected to be conferred a Master's degree in a science-related discipline at any sister universities of Gifu University or Shizuoka University.
  - c. Those who have / are expected to be conferred a Master's degree in a science-related discipline at any universities other than stated above (a) and (b), and satisfies the UGSAS admission policy (refer to page 31).
- The entrance exam (Interview) for this admission is conducted twice a year in September and February. However, another application period may be added depending on capacity.

### 《Special Admission for International Students》 (Refer to Page 52 – 57 for the details)

- Those who have / are expected to be conferred a Master's degree, and are proficient in English are eligible to apply.
- The entrance exam (Interview) for this admission is conducted in June. However, applicants who fall into any of the following categories are eligible to take the exam throughout a year.
  - a. Those who have / are expected to be conferred a Master's degree in a science-related discipline at the member universities of the consortium (see P.54)
  - b. Those who are teaching at the member universities of the consortium (see P.54)
  - c. Those who are specially accredited by UGSAS-GU



# **General Admission**

## 1. Number of Students to be Admitted

Course	Admission Quota
Science of Biological Production	7
Science of Biological Environment	5
Science of Biological Resources	8
<b>Total</b>	<b>20</b>

The table above shows the total number of all three types of admissions.

## 2. Admission Dates

April or October 2017

Applicants who wish to change their desired entrance date from April to October after the application must submit a "Statement of Reasons" to the office of the United Graduate School of Agricultural Science, Gifu University by Friday, March 3, 2017.

## 3. Qualifications for Application

Any one of the following qualifications is necessary for admission:

- (1) Those who have a Master's degree or those who are expected to complete a Master's Course by March 31, 2017 (for entry in April, 2017) or September 30, 2017 (for entry in October, 2017).
- (2) Those who have received a degree equivalent or superior to a Master's degree / are expected to receive a Master's degree from an overseas educational institution.
- (3) Those who are awarded a degree equivalent or superior to a Master's degree after completing a correspondence or an online course of a foreign school in Japan.
- (4) Those who have received a degree equivalent to Master's degree or professional graduate degree by completing required education designated by the Ministry of Education, Culture, Sports, Science & Technology at educational institutes in Japan with a foreign graduate course education system.
- (5) Those who have completed a program at the United Nations University and have received a degree equivalent to Master's degree.
- (6) Those who are engaged in research for 2 years or more after completing their undergraduate course in Japan or a 16-year course of school education in a foreign country, and have academic capability equivalent or superior to the Master's degree are eligible to apply for the doctoral course. The qualifications will be examined by the Board of Representatives. [Notification No.118 by the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology, 1989. (Partially amended on March 30, 2001)] The candidates who apply under this category are advised to contact the office of the United Graduate School of Agricultural Science.

- (7) Those who are above 24 years of age and have a Master's or a higher degree. Applicants are required to satisfy an application qualification examination performed by the Graduate School. (Refer to section 4-2)

Eligible candidates: Those who have graduated from Junior Colleges, Technical Colleges, special Training Colleges, various schools, foreign universities (Japanese branch schools), international schools, our Graduate School shall conduct individual exams to determine if they have academic capability equivalent or superior to the Master's degree.

#### 4. Eligibility Screening

Accreditation of the applicant who qualifies for (6) of section 3 on the previous page is based on the submission of the following documents and oral examination, etc., if necessary. The validity period of accredited eligibility is 3 years, including the year accredited. If applying during the validity period, it is not necessary to undergo the "Eligibility Screening" by submitting a copy of "Notification of accreditation for application eligibility".

##### <Documents to be submitted>

(1) Certified application form for the entrance examination ① (Form No. 8)	Fill out Form No. 8 issued by the United Graduate School.	1 original
(2) Curriculum vitae (Form No. 2)	Fill out Form No. 2 issued by the United Graduate School. *International students should fill from elementary	1 original
(3) Research history certificate (Form No. 9)	Certificates should be completed and submitted by the director/CEO of each research laboratory or department, such as government and municipal offices and enterprises, where applicants have done their research work. Use Form No. 9 issued by the United Graduate School.	1 original
(4) Graduation certificate	Submit a certificate from the last school attended with the university president's signature.	1 original
(5) Research achievements form (Form No. 10: cover)	Write in about 2,000 characters in the case of Japanese, or about 1,200 words in the case of English. Use form No. 10 as a cover.	10 (1 original, 9 photocopies)
(6) Supplementary materials to show past research results and achievements	Supplementary materials such as books, scientific theses, scientific reports, scientific lectures, patents.	1 original
(7) Self-addressed, 120mm×235mm envelope	Enclose a self-addressed envelope with your name, postal code, address, and 820 yen stamp (the stamp includes fees for registered express delivery).	1 original

Note: As a general rule, submit the application documents in Japanese.

## 4-2) Eligibility Screening

Accreditation of the applicant who qualifies for (7) of section 3 on the previous page is based on an oral examination that focuses on the following documents and currently research content, etc.

### <Documents to be submitted>

(1) Certified application form for the entrance examination ② (Form No. 8-2)	Fill out Form No. 8-2 issued by the United Graduate School.	1 original
(2) Curriculum vitae (Form No. 2)	Fill out Form No. 2 issued by the United Graduate School. *International students should fill from elementary education.	1 original
(3) Research history certificate (Form No. 9)	Certificates should be completed and submitted by the director/CEO of each research laboratory or department, such as government and municipal offices and enterprises, where applicants have done their research work. Use Form No. 9 issued by the United Graduate School.	1 original
(4) Graduation certificate	Submit a certificate from the last school attended with the university president's signature.	1 original
(5) Research achievements form (Form No. 10: cover)	Write in about 2,000 characters in the case of Japanese, or about 1,200 words in the case of English. Use Form No. 10 as a cover.	10 (1 original, 9 photocopies)
(6) Supplementary materials to show past research results and achievements	Supplementary materials such as books, scientific theses, scientific reports, scientific lectures, patents.	1 original
(7) Self-addressed, 120mm×235mm envelope	Enclose a self-addressed envelope with your name, postal code, address, and 820 yen stamp (the stamp includes fees for registered express delivery).	1 original

Note: As a general rule, submit the application documents in Japanese.

## 4-3) Submission Period

The First Application	Wednesday, June 15, 2016 to Friday, June 24, 2016
The Second Application	Monday, November 14, 2016 to Monday, November 21, 2016

The application documents may either be mailed or submitted in person. Office hours are Monday through Friday from 9am to 4pm (except for holidays). If the forms are mailed, use register express (*kakitome sokutatsu*).

#### 4-4) Announcement of Results

The First Application	We will notify the applicants of the results after Friday, July 8, 2016.
The Second Application	We will notify the applicants of the results after Thursday, December 1, 2016.

### 5. Application Procedure

#### <Documents to be submitted>

(1) Application for Admission (Form No. 1)	Students who are currently attending any of the master's courses of Gifu University or the Graduate School of Agriculture / Integrated Science and Technology, Shizuoka University must fill out the green application form (Form No. 1-2). Other applicants should fill out the white application form (Form No. 1).	1 original
(2) Examination fee: 30,000 yen	<p>The payment of examination fee should be made in yen to the following account.</p> <p>① Bank: THE JUROKU BANK, LTD.          ② Beneficiary: KOKURITSU-DAIGAKUHOZIN          GIFUDAIGAKU KENTEIRYOKOZA          ③ Branch: KURONO          ④ Account number: 1361948</p> <p>Without separating the enclosed "Request for Payment Form (1)," "Receipt (2)," and "Payment Certificate (3)," remit the examination fee at your nearest bank (a service charge must be paid by the applicant). After making the remittance, attach the "Payment Certificate (3)" with the application papers. Transfers cannot be made from ATMs.</p> <p>*An examination fee is not necessary for those who will complete any of the master's courses of Gifu University or the Graduate School of Agriculture / Integrated Science and Technology, Shizuoka University in March 2017 and wish to continue a post graduate course at the United Graduate School of Agricultural Science, Gifu University.</p> <p>*Foreign students who are recipients of a Japanese Government Scholarship do not need to pay the examination fee. However, submit a Certificate of Japanese Government Scholarship Student with your application.</p>	
(3) Curriculum vitae (Form No. 2)	<p>Print clearly on the curriculum vitae form (Form No. 2).</p> <p>*International students should fill from elementary education. (Not necessary for those who apply for the accreditation for application eligibility.)</p>	1 original

(4) Academic record and written evaluation (Form No. 3 for (a) only) *Transcript copy of TOEFL, TOEIC, JLPT, or similar test of English / Japanese language proficiency (If any)	Submit both (a) and (b) below: (a) A written evaluation signed by the Dean of your graduate school (Form No. 3). (b) An academic record (transcript) signed by the Dean or President of your undergraduate university.		(a) 1 original (b) 1 original
	Below is only for those who apply: An academic record issued by your junior college or other educational institutions or schools		1 original (if necessary)
(5) Photograph	Attach 2 photographs (4cm long x 3cm wide, taken within 3 months; facing forward with no hat) on the designated area of the application form and of the entrance examination card.		2 photos
(6) Certificate of Completion or Expected Completion of a Master's Degree			1 original
(7) Thesis for a Master's Degree, etc. (Form No. 4: Cover sheet)	A. Those who hold a Master's degree	(a) A copy of the Master's thesis or a similar document	1 copy
		(b) Summary of Master's thesis The summary should be written in about 2,000 characters in Japanese or 1,200 words in English on A4 size paper. Use Form No. 4 as a cover.	5 copies (1 original, 4 copies acceptable)
	B. Those who are expected to complete a Master's Course	(a) Research Progress Report (in about 10,000 characters in Japanese or 6,000 words in English with charts and diagrams)	1 copy
		(b) Summary of Research Progress The summary should be written in about 2,000 characters in Japanese or 1,200 words in English on A4 size paper. Use Form No. 4 as a cover.	5 copies (1 original, 4 copies acceptable)
	C. Those who qualify for (6) or (7) of Section 3	(a) Thesis for a degree equivalent to a Master's degree	1 copy
		(b) Summary of thesis for a degree equivalent to a Master's degree The summary should be written in about 2,000 characters in Japanese or 1,200 words in English on A4 size paper. Use Form No. 4 as a cover.	5 copies (1 original, 4 copies acceptable)
(8) Statement of Research Plan (Form No. 5: Cover sheet)	Specify the content and field of study on A4 size paper. The research plan should be written in about 2,000 characters in Japanese or 1,200 words in English. Use Form No. 5 as a cover.		5 copies (1 original, 4 copies)
(9) Letter of Recommendation (Form No. 6)	Submit a letter of recommendation written by the academic supervisor of your graduate school or by your supervisor at your company. Use Form No. 6.		1 original
(10) Letter of Consent for Application (Form No. 7)	Submit a letter of consent for application written by the director or CEO of your company or the public office. Use Form No. 7.		1 original

(11) Notification of accreditation for application eligibility	If you got accredited in 2014 or 2015 and are applying this year, submit a copy of “Notification of accreditation for application eligibility”.	1 copy (if necessary)
(12) Resident Record or Passport copy	International applicants must submit a copy of the Resident Record issued by the city/district/town in Japan in which the applicant’s status of residence is stated; or a copy of the Temporary Visitor’s Visa. If you don't have either of the above, submit a copy of your country's residence certificate or an equivalent document.	1 photocopy
(13) Prospective Academic Supervisors List Form (Form No. 11)	Applicants must request to fill out this form to the primary academic supervisor you wish to study with in Japan. Use Form No. 11.	1 original
(14) Self-addressed, 120mm ×235mm envelope	Enclose a self-addressed envelope with your name, postal code, address, and 820 yen stamp (the stamp includes fees for registered express delivery).	1 original

Note: As a general rule, submit the application documents in Japanese.

## 6. Period of Application

The First Application	Friday, July 15, 2016 to Friday, July 22, 2016
The Second Application	Monday, December 12, 2016 to Thursday, December 22, 2016

Application documents may either be mailed or submitted in person. Office hours are Monday through Friday from 9am to 4pm (except for holidays). If the forms are mailed, use register express (*kakitome sokutatsu*).

## 7. Method of Selection of Applicants

Selection will be made by the results of written and oral examinations, transcripts, and other material of the applicant.

### (1) Examination in academic subjects

#### ① Written examination

##### (a) Foreign language: English.

Foreign applicants may choose from an English exam, a Japanese essay, or an English essay.

##### (b) Special subjects which are related to the research field of the primary academic supervisor the applicant wish to study with. (See the table on p. 62)

#### ② Oral examination

The oral examination will mainly be centered on the applicant’s Master’s degree thesis or its substitute, and the statement of the applicant’s research plan at the United Graduate School. The examination will consist of 30 minutes of presentation and 30 minutes of discussion. A computer projector and a Windows laptop computer with PowerPoint will be available for use.

## 8. Date and Venue of Examinations

Time, date, and the place of the written and oral examinations are shown in the following table.

The First Application	Thursday, September 8, 2016	Examination		Time	Venue
		Written	English Language	8:40 - 10:20	The United Graduate School, Gifu University
The Second Application	Thursday, February 9, 2017		Special Subjects	10:40 - 12:40	
		Oral		14:00 -	

## 9. Announcement of Successful Candidates

The First Application	Tuesday, September 20, 2016	12:00 -	Examinee numbers of successful candidates will be posted on the announcement board of the United Graduate School of Agricultural Science, Gifu University, and the Faculty of Agriculture, Shizuoka University. It will also be posted on university website ( <a href="http://www.gifu-u.ac.jp/">http://www.gifu-u.ac.jp/</a> ). In addition, each successful candidate will be informed by mail.
The Second Application	Wednesday, February 22, 2017		

## 10. Preliminary Consultation for Applicants with Disabilities

Special considerations may be necessary for challenged applicants (see the chart below). Such applicants require preliminary consultation with the Graduate School Office.

Classification	Degree of disability
Visual disability	Vision acuity in both eyes is less than the 0.3(20/60) level or visual disability other than eyesight is advanced. It is impossible or extremely difficult to recognize letters even with a magnifying glass.
Hearing disability	Hearing level in both ears is 60 decibels or higher. It is impossible or extremely difficult to understand a speaking voice even with hearing-aids.
Physically challenged	(a) It is impossible or extremely difficult to perform basic movements necessary for daily life including walking, even with adaptive equipment. (b) The level of physical challenges is milder than in (a) above, but regular medical guidance is needed.
Prone to illness or weak (including physical weakness)	(a) The level of illness including chronic respiratory disease requires regular medical guidance or some kind of restrictions in daily life. (b) The level of physical weakness requires restrictions in daily life.

\*Classification and degree of disablement are in conformity with Article 22-3 of the implementation order of School Education Law.

(1) Consultation period

Please contact us several days before the start of application period, or special measures cannot be taken, since some consultation may take more time than others.

(2) How to consult

Submit a document containing the following items (any style is acceptable) :

- (a) Preferred major chair, course, and prospective advisor.
- (b) Name of the university, faculty, and department from which you are graduating.
- (c) Type and level of disability (a doctor's statement may be necessary in some cases).
- (d) Preferred special considerations during examinations.
- (e) Preferred special considerations while being enrolled at this university.
- (f) Special considerations taken at the school from which you are graduating.
- (g) Situations in your daily life.

## **11. Admission Procedures**

(1) Period and Method for Admission

Guidebook for admission procedures will be sent to the successful candidate in late February, 2017 (for entry in April, 2017) or in mid- July, 2017 (for entry in October, 2017).

(2) Admission Fee

Admission fee: 282,000 yen (estimated)

\*Other than the admission fee, successful candidates are required to purchase "Personal Accident Insurance for Students Pursuing Education and Research (PAS)" and "Liability Insurance for Students Pursuing Education and Research (LSR)". Further information will be notified to the candidates after being accepted to the program.

\*Students who will complete the master's program at any participating university in March 2017 are exempt from admission fee.

\*The admission fee is an estimate, and therefore if modified, the modified amount will be applied from then on.

## **12. Tuition Fee**

Tuition fee (first semester): 267,900 yen (estimated; 535,800 yen a year is payable in two installments for the first and second semester)

\*Students will pay the tuition for the first semester in May by bank account transfer. Further information will be notified to the candidates after being accepted to the program.

\*International students who will remain as the Japanese Government (Monbukagakusho) Scholarship

recipients in the new academic year are exempt from both admission and tuition fees. Towards this, the international students mentioned above must submit the certificate of the Japanese Government (Monbukagakusho) Scholarship.

\*The tuition fee is an estimate, and therefore if modified, the modified amount will be applied from then on.

### **13. Long-term Enrollment System**

Our graduate school has a system called the “Long-term Enrollment System” stipulated in Article 15 of the Graduate School Establishment Standards. This system allows students with a full-time job or other circumstances, who wish to complete the program, to study beyond the standard term for a set period of time with a well-planned curriculum. Those who wish to apply this system must contact the Office of the United Graduate School of Agricultural Science during the application period.

### **14. Important Notification**

- (1) Applicants must contact the prospective primary academic supervisor of choice before applying to the program.
- (2) Submitted application forms will not be returned and any alteration of the forms will not be allowed.
- (3) Applicants must submit complete, accurate and authentic documents for application. To do otherwise may result in denial of admission.

### **15. Method of Payment for Examination Fee**

- (1) Applicants outside Japan

Examination fee: ¥30,000

Applicants remitting money from outside Japan should transfer a ¥30,000 yen examination fee to the following bank account. Remittance charges such as handling fees for yen exchange and incoming remittance are to be paid by the applicant. Include a copy of documentary evidence of remittance with the application papers.

#### **【Bank Information】**

THE JUROKU BANK, LTD.  
SWIFT: JUROJPJT  
A/C with KURONO Branch  
(Bank Branch Address: 124-3 Oritate, Gifu City, Japan)  
A/C No.: 1361948  
A/C Name: KOKURITSU-DAIGAKUHOZIN  
GIFU DAIGAKU KENTEIRYOKOZA  
(Gifu University Address: 1-1 Yanagido, Gifu City, Japan)

## **16. Application Fee Reimbursement**

(1) The application fee will be reimbursed under the following conditions.

- (a) If the application is not accepted.
- (b) If the applicant pays the application fee twice or pays too much in error.
- (c) If the applicant does not submit an application after paying the application fee.
- (d) If the applicant who are recipients of a Japanese Government Scholarship and mistakenly pays the application fee.

(2) Requesting reimbursement

Please send your request to the office, if you are eligible for reimbursement.

## **17. Personal Information**

The information provided in the application, such as name, address, and other personal information will only be used by the United Graduate School of Agricultural Science, Gifu University Office for the purpose of processing applications and notifying successful applicants.



## **Admission on Recommendation**

## **1. Number of Students to be Admitted**

Refer to Page 36.

## **2. Admission Dates**

April or October 2017

Applicants who wish to change their desired entrance date from April to October after the application must submit a "Statement of Reasons" to the office of the United Graduate School of Agricultural Science, Gifu University by Friday, March 3, 2017.

## **3. Qualifications for Application**

Any one of the following qualifications is necessary for admission:

- (1) Those who have / are expected to be conferred a Master's degree under the supervision of faculty staff belong to The United Graduate School of Agricultural Science, Gifu University by March 31, 2017 (for entry in April, 2017) or September 30, 2017 (for entry in October, 2017).
- (2) Those who have / are expected to be conferred a Master's degree in a science-related discipline at any sister universities of Gifu University or Shizuoka University.
- (3) Those who have / are expected to be conferred a Master's degree in a science-related discipline at any universities other than stated above (1) and (2), and satisfies the UGSAS admission policy (refer to page 31).\*

## 4. Application Procedure

### <Documents to be submitted>

(1) Application for Admission (Form No. 1)	Students who are currently attending any of the master's courses of Gifu University or the Graduate School of Agriculture / Integrated Science and Technology, Shizuoka University must fill out the green application form (Form No. 1-2). Other applicants should fill out the white application form (Form No. 1).	1 original
(2) Examination fee: 30,000 yen	<p>The payment of examination fee should be made in yen to the following account.</p> <p>① Bank: THE JUROKU BANK, LTD.            ② Beneficiary: KOKURITSU-DAIGAKUHOZIN            GIFUDAIGAKU KENTEIRYOKOZA            ③ Branch: KURONO            ④ Account number: 1361948</p> <p>Without separating the enclosed "Request for Payment Form (1)," "Receipt (2)," and "Payment Certificate (3)," remit the examination fee at your nearest bank (a service charge must be paid by the applicant). After making the remittance, attach the "Payment Certificate (3)" with the application papers. Transfers cannot be made from ATMs.</p> <p>*An examination fee is not necessary for those who will complete any of the master's courses of Gifu University or the Graduate School of Agriculture / Integrated Science and Technology, Shizuoka University in March 2017 and wish to continue a post graduate course at the United Graduate School of Agricultural Science, Gifu University.</p> <p>*Foreign students who are recipients of a Japanese Government Scholarship do not need to pay the examination fee. However, submit a Certificate of Japanese Government Scholarship Student with your application.</p>	
(3) Curriculum vitae (Form No. 2)	<p>Print clearly on the curriculum vitae form (Form No. 2).</p> <p>*International students should fill from elementary education.</p>	1 original
(4) Academic record and written evaluation (Form No. 3 for (a) only)  *Transcript copy of TOEFL, TOEIC, JLPT, or similar test of English / Japanese language proficiency (If any)	<p>Submit both (a) and (b) below:</p> <p>(a) A written evaluation signed by the Dean of your graduate school (Form No. 3).</p> <p>(b) An academic record (transcript) signed by the Dean or President of your undergraduate university.</p>	(a) 1 original (b) 1 original
	<p>Below is only for those who apply:            An academic record issued by your junior college or other educational institutions or schools</p>	1 original (if necessary)
(5) Photograph	Attach 2 photographs (4cm long x 3cm wide, taken within 3 months; facing forward with no hat) on the designated area of the application form and of the entrance examination card.	2 photos

(6) Certificate of Completion or Expected Completion of a Master's Degree			1 original
(7) Thesis for a Master's Degree, etc. (Form No. 4: Cover sheet)	A. Those who hold a Master's degree	(a) A copy of the Master's thesis or a similar document	1 copy
		(b) Summary of Master's thesis The summary should be written in about 2,000 characters in Japanese or 1,200 words in English on A4 size paper. Use Form No. 4 as a cover.	5 copies (1 original, 4 copies acceptable)
	B. Those who are expected to complete a Master's Course	(a) Research Progress Report (in about 10,000 characters in Japanese or 6,000 words in English with charts and diagrams)	1 copy
		(b) Summary of Research Progress The summary should be written in about 2,000 characters in Japanese or 1,200 words in English on A4 size paper. Use Form No. 4 as a cover.	5 copies (1 original, 4 copies acceptable)
(8) Statement of Research Plan (Form No. 5: Cover sheet)	Specify the content and field of study on A4 size paper. The research plan should be written in about 2,000 characters in Japanese or 1,200 words in English. Use Form No. 5 as a cover.		5 copies (1 original, 4 copies)
(9) Letter of Recommendation (Form No. 6)	Submit a letter of recommendation written by the academic supervisor of your graduate school or by your supervisor at your company. Use Form No. 6.		1 original
(10) Letter of Consent for Application (Form No. 7)	Submit a letter of consent for application written by the director or CEO of your company or the public office. Use Form No. 7.		1 original
(11) Resident Record or Passport copy	International applicants must submit a copy of the Resident Record issued by the city/district/town in Japan in which the applicant's status of residence is stated; or a copy of the Temporary Visitor's Visa. If you don't have either of the above, submit a copy of your country's residence certificate or an equivalent document.		1 photocopy
(12) Prospective Academic Supervisors List Form (Form No. 11)	Applicants must request to fill out this form to the primary academic supervisor you wish to study with in Japan. Use Form No. 11.		1 original
(13) Self-addressed, 120mm ×235mm envelope	Enclose a self-addressed envelope with your name, postal code, address, and 820 yen stamp (the stamp includes fees for registered express delivery).		1 original

Note: As a general rule, submit the application documents in Japanese.

※Applicants who are qualified under “3. Qualifications for Application (3)” must submit the follows.		
(14) Official transcript copy	Official transcript of TOEFL, TOEIC, or similar test of English language proficiency.	1 copy
(15) Supplementary materials to show past research results and achievements	Supplementary materials such as books, scientific theses, scientific reports, scientific lectures, patents.	1 original

## 5. Period of Applications

	Applicants who are qualified under “3. Qualifications for Application (1) or (2)”	Applicants who are qualified under “3. Qualifications for Application (3)”
The First Application	Friday, July 15, 2016 to Friday, July 22, 2016	Wednesday, June 15, 2016 to Friday, June 24, 2016 The result of “Eligibility Screening for Application” will be notified to the applicant personally after Friday, July 8, 2016.
The Second Application	Monday, December 12, 2016 to Thursday, December 22, 2016	Monday, November 14, 2016 to Monday, November 21, 2016 The result of “Eligibility Screening for Application” will be notified to the applicant personally after Friday, December 16, 2016.

Application documents may either be mailed or submitted in person. Office hours are Monday through Friday from 9am to 4pm (except for holidays). If the forms are mailed, use register express (*kakitome sokutatsu*).

## 6. Method of Selection of Applicants

Selection will be made by the results of oral examinations, transcripts, and other material of the applicant.

- Oral examination

The oral examination will mainly be centered on the applicant’s Master’s degree thesis or its substitute, and the statement of the applicant’s research plan at the United Graduate School. The examination will consist of 30 minutes of presentation and 30 minutes of discussion. A computer projector and a Windows laptop computer with PowerPoint will be available for use.

## 7. Date and Venue of Examinations

Time, date, and the place of the written and oral examinations are shown in the following table.

The First Application	Thursday, September 8, 2016	Examination	Time	Venue
The Second Application	Thursday, February 9, 2017	Oral	9:00 -	The United Graduate School, Gifu University

## 8. Announcement of Successful Candidates

The First Application	Tuesday, September 20, 2016	12:00 -	Examinee numbers of successful candidates will be posted on the announcement board of the United Graduate School of Agricultural Science, Gifu University, and the Faculty of Agriculture, Shizuoka University. It will also be posted on university website ( <a href="http://www.gifu-u.ac.jp/">http://www.gifu-u.ac.jp/</a> ). In addition, each successful candidate will be informed by mail.
The Second Application	Wednesday, February 22, 2017		

## **9. Preliminary Consultation for Applicants with Disabilities**

Refer to Page 42.

## **10. Admission Procedures**

Refer to Page 43.

## **11. Tuition Fee**

Refer to Page 43.

## **12. Long-term Enrollment System**

Refer to Page 44.

## **13. Important Notification**

Refer to Page 44.

## **14. Method of Payment for Examination Fee**

Refer to Page 44.

## **15. Application Fee Reimbursement**

Refer to Page 45.

## **16. Personal Information**

Refer to Page 45.

**Special Admission  
for  
International Students**

## **1. Number of Students to be Admitted**

Refer to Page 36.

## **2. Admission Dates**

April or October 2017

Applicants who wish to change their desired entrance date from April to October after the application must submit a "Statement of Reasons" to the office of the United Graduate School of Agricultural Science, Gifu University by Friday, March 3, 2017.

## **3. Qualifications for Application**

Applicants who have / are expected to be conferred a Master's degree, and should meet all of the following qualifications by March 31, 2017 (for entry in April, 2017) or September 30, 2017 (for entry in October, 2017) .

- a. Applicants should be outstanding students with the ability to obtain a doctorate within three years of admission to the program. Students may either come from another country or currently reside in Japan, and will study in the program as international students.
- b. Applicants should be recommended by the presidents or heads of universities (especially those having exchange programs with the member institutions of the United Graduate School of Agricultural Science, Gifu University), government and municipal offices, private companies, or other recognized institutions in their countries.
- c. Applicants should be proficient in English.

#### 4. Examination Schedule

	Date	*Exceptions
Application	Monday, May 2, 2016 to Tuesday, May 31, 2016	Wednesday, June 1, 2016 to Wednesday, May 31, 2017
	Applicants are required to submit the necessary documents to the United Graduate School of Agricultural Science, Gifu University by the following ways. If you are currently a university student, the application documents should be submitted by your university dean; if you are currently employed, they should be submitted by your immediate superior; other than those mentioned above, they should be submitted by your research advisor at the university from which you graduated. The documents should be sent by registered express mail. Applications submitted by the student him or herself will NOT be accepted.	
Examination	Thursday, June 16 to Thursday, June 30, 2016	Friday, July 1, 2016 to Friday, June 30, 2017
	Place: Gifu University, applicant's graduating school, or designated place by the admissions committee	
Announcement of Successful Candidates	12:00 on Friday, July 15, 2016	Within 30 days after the examination date
	Examinee numbers of successful candidates will be posted on the announcement board of the United Graduate School of Agricultural Science, Gifu University, and the Faculty of Agriculture, Shizuoka University. It will also be posted on university website ( <a href="http://www.gifu-u.ac.jp/">http://www.gifu-u.ac.jp/</a> ). In addition, each successful candidate will be informed by mail.	Examinee numbers of successful candidates will be posted on the announcement board of the United Graduate School of Agricultural Science, Gifu University, and the Faculty of Agriculture, Shizuoka University. It will also be posted on UGSAS-GU website ( <a href="http://www1.gifu-u.ac.jp/~rendai/">http://www1.gifu-u.ac.jp/~rendai/</a> ). In addition, each successful candidate will be informed by mail.

\*Exceptions: Applicants who fall into any of the following categories are eligible to take the exam throughout a year from Friday, July 1, 2016 to Friday, June 30, 2017.

- Those who have / are expected to be conferred a Master's degree in a science-related discipline at the member universities of the consortium (see the list below)
- Those who are teaching at the member universities of the consortium (see the list below)

##### Consortium Member Universities

- University of Dhaka (Bangladesh) • Guangxi University (China) • Assam University (India)
  - Indian Institute of Technology, Guwahati (India) • Andalas University (Indonesia)
  - Bogor Agricultural University (Indonesia) • Gadjah Mada University (Indonesia)
  - Institut Teknologi Bandung (Indonesia) • Sebelas Maret University (Indonesia)
  - University of Lampung (Indonesia) • Chulalongkorn University (Thailand)
  - Kasetsart University (Thailand) • King Mongkut's University of Technology Thonburi (Thailand)
  - Hanoi University of Science and Technology (Vietnam) • Thuiloy University (Vietnam)
- (As of April 2016)

- Those who are specially accredited by UGSAS-GU

## 5. Application Procedure

### <Documents to be submitted>

(1) Application for Admission (Form No. 1-3)			1 original
(2) Certification of examination fee payment	Transfer a ¥30,000 yen examination fee to the following bank account. Remittance charges such as handling fees for yen exchange and incoming remittance are to be paid by the applicant. Include a copy of documentary evidence of remittance with the application papers.		1 original/copy
(3) Curriculum vitae (Form No. 2)	Print clearly on the curriculum vitae form (Form No. 2).		1 original
(4) Academic record	Official transcripts from the (a) university and (b) graduate school the applicant graduated from (issued by the university the applicant graduated from).		(a) 1 original (b) 1 original
(5) Official transcript copy	Official transcript of TOEFL, TOEIC, or similar test of English language proficiency.		1 copy
(6) Photograph	Attach 2 photographs (4cm long x 3cm wide, taken within 3 months; facing forward with no hat) on the designated area of the application form and of the entrance examination card.		2 photos
(7) Certificate of Completion or Expected Completion of a Master's Degree			1 original
(8) Thesis for a Master's Degree, etc. (Form No. 4: Cover sheet)	A. Those who hold a Master's degree	(a) A copy of the Master's thesis or a similar document	1 copy
		(b) Summary of Master's thesis The summary should be written in about 2,000 characters in Japanese or 1,200 words in English on A4 size paper. Use Form No. 4 as a cover.	5 copies (1 original, 4 copies acceptable)
	B. Those who are expected to complete a Master's Course	(a) Research Progress Report (in about 10,000 characters in Japanese or 6,000 words in English with charts and diagrams)	1 copy
		(b) Summary of Research Progress The summary should be written in about 2,000 characters in Japanese or 1,200 words in English on A4 size paper. Use Form No. 4 as a cover.	5 copies (1 original, 4 copies acceptable)
(9) Statement of Research Plan (Form No. 5: Cover sheet)	Specify the content and field of study on A4 size paper. The research plan should be written in about 2,000 characters in Japanese or 1,200 words in English. Use Form No. 5 as a cover.		5 copies (1 original, 4 copies)
(10) Letter of Recommendation (Form No. 6)	Submit a letter of recommendation written by the academic supervisor of your graduate school or by your supervisor at your company. Use Form No. 6.		1 original

(11) Letter of Consent for Application (Form No. 7)	Submit a letter of consent for application written by the director or CEO of your company or the public office. Use Form No. 7.	1 original
(12) Resident Record or Passport copy	International applicants must submit a copy of the Resident Record issued by the city/district/town in Japan in which the applicant's status of residence is stated; or a copy of the Temporary Visitor's Visa. If you don't have either of the above, submit a copy of your country's residence certificate or an equivalent document.	1 photocopy
(13) Prospective Academic Supervisors List Form (Form No. 11)	Applicants must request to fill out this form to the primary academic supervisor you wish to study with in Japan. Use Form No. 11.	1 original

## 6. Method of Selection of Applicants

Video conference interviews will be conducted by three faculty members if the applicant is unable to come to Japan. Please make inquiries about the video conference system (e.g., usage, standards) in advance. If the video conference system is not available, the interviews will be conducted via e-mail.

*Notes:*

- 1) For e-mail interviews, the applicant will first be contacted via e-mail by his or her prospective primary academic supervisor. This e-mail will be sent to the applicant at the e-mail address written on his or her admission application.
- 2) E-mail interviews will be conducted by three faculty members in the applicant's preferred field of study. The applicant will exchange e-mail messages at least three times with each faculty member (a total of nine times or more).

## 7. Preliminary Consultation for Applicants with Disabilities

Refer to Page 42.

## 8. Admission Procedures

Refer to Page 43.

## 9. Tuition Fee

Refer to Page 43.

## **10. Long-term Enrollment System**

Refer to Page 44.

## **11. Important Notification**

Refer to Page 44.

## **12. Method of Payment for Examination Fee**

Refer to Page 44.

## **13. Application Fee Reimbursement**

Refer to Page 45.

## **14. Personal Information**

Refer to Page 45.

OUTLINE  
THE UNITED GRADUATE SCHOOL OF  
AGRICULTURAL SCIENCE,  
GIFU UNIVERSITY  
(THREE-YEAR DOCTORAL COURSE)

## **1. Purpose of Foundation**

By synergistically linking the respective Graduate Schools of Agriculture of Shizuoka University, Gifu University, and Shinshu University,\* this program intends: to organize distinctive educational and research organizations; to foster researchers and technicians who have high level professional skills, abundant academic knowledge, and a broad vision in various sciences related to biological production, biological environment, and biological resources; to contribute to the progress of agricultural science and the development of biological resource-related industries; and, furthermore, to contribute to the development of agricultural science and related industries in foreign countries by actively accepting foreign students wishing to learn advanced science and technology, in response to the strong demand from overseas for training programs in the fields of agriculture, forestry, animal husbandry, and fisheries. The educational and research organizations of this graduate school will also contribute to the development of the Chubu district through industry-university collaboration, by taking into account various factors related to agricultural science and industry, such as the environment and location of the Chubu district.

\*The United Graduate School of Agricultural Science was reestablished in AY2010 into the present organization consisting of Gifu University and Shizuoka University.

## **2. Specialized Courses**

### **(1) Science of Biological Production**

Students in this course will cover all of the steps in agriculture: from production to trade and marketing of products. They are requested to study or develop knowledge and expertise on plants, animals, and their products. On the basis of such progress and integration, they will create a new era in agriculture, not only from the technological but also from the economical point of view, through the following areas: development of new biological resources, genetic improvements of plants and animals used hitherto, improvements of the technology of plant culture, animal feeding, and product preservation and processing.

### **(2) Science of Biological Environment**

It is of vital importance, today and in the future, to expand, improve, and conserve fertile farmland and forests, which are the basis for biological production. Preserving farmland and forests from disaster and devastation are also very important.

It is particularly worthy of note that not a few recent world-wide environmental problems are in the area of agriculture. To solve and to cope with these problems, research programs have been developed, and various subjects are offered by scholars pursuing research relevant to these problems through advanced technology using physical, chemical, and biological methods.

### **(3) Science of Biological Resources**

In order to use all of the available biological resources wisely, including animals, plants, and microbial products, and to solve underlying problems of soil and earth, this course offers deeper knowledge for the production of biological resources and multidisciplinary research on life sciences. Education and research related to the structure-function relationships of natural products, endowment of new functionality to unutilized natural resources, and efficient devices of waste treatment are systematically and collectively conducted from chemical, biological, physicochemical, biochemical as well as newly developed biotechnological standpoints.

### 3. Special Features of the United Graduate School of Agricultural Science

(1) At the time of enrollment, each student may request a professor as his/her primary academic supervisor from the “Fields of Instruction and Research Themes of Professors”. The United Graduate School of Agricultural Science then assigns a professor as a primary academic supervisor and a field of study to each student based on the request.

(2) Each student at the United Graduate School of Agricultural Science will be assigned one primary academic supervisor and two co-academic supervisors.

(3) Although all students are registered with Gifu University, they conduct their course work mainly at the location where his/her primary academic supervisor is located.

The facilities and equipment at participating university locations are, however, available to all students.

### 4. Requirements for Doctoral Degree

Successful completion of this doctoral course requires a residency of 3 years or more and acquisition of the prescribed credits. In addition, a student must pass the review of his/her doctoral dissertation along with the final examination. The successful completer will be awarded a Doctoral Degree in Philosophy (Agricultural Science). However, the aforementioned period of attendance may be shortened for any student who has achieved particularly outstanding research results.

To successfully complete this graduate course, at least 12 credits must be earned, 8 of which must be in required subjects with the remaining 4 in elective subjects.

### 5. Outline of Major Chairs [Rengo-Koza]

Course	Major Chair [Rengo-Koza]	Program Content
Science of Biological Production	Plant Production & Management	This major chair covers a wide spectrum of disciplines, ranging from production to supply of plant products to consumers. There are three major disciplines under the chair, and their objectives are: 1) Plant production science, which covers fields such as crop and horticultural sciences, and plant genetics and breeding. Advanced technology in genetic engineering, seed and sapling production, cultivation technology and biotechnology are its main objectives. 2) Science of plant product distribution, which covers postharvest technique and logistics of plant products. Research and education in a series of scientific fields from harvest to supply for consumers are the main objectives. 3) Science of business management, which comprehensively covers advanced studies for productivity, profitability and sustainable development and cultural advancements for business, rural, and national economies in conjunction with information sciences.
	Animal Resource Production	As the major chair covering the field of animal science, all disciplines in the chair are directed to research on animals, mainly mammals and birds, relating directly or indirectly to human welfare and life. By continuous efforts to give students newer scientific information and technology, the chair conducts high-level education for research in a wide variety of fields of animal science such as anatomy, physiology, genetics, development, reproduction, nutrition, management of livestock and grassland, and feed and product processing. Active use of biotechnology, including gene handling and information processing to increase the productivity of animals, is also a major concern.

Course	Major Chair [Rengo-Koza]	Program Content
Science of Biological Environment	Agricultural & Environmental Engineering	Research and education are conducted on principles of land and water engineering and physical planning for the consolidation and conservation of farmland and forests, which are the foundation of biological production. Research and education on mechanization of farm work are also carried out for increased labor productivity and supply of agricultural products. Specifically, conservation, disaster prevention, improvement and consolidation of farmland and forests, construction of relevant structures, development and utilization of machinery are the main subjects in this major chair. The main objective is sustainable development and utilization of natural resources over the long term to establish a sound foundation for biological production and a comfortable living environment for human life.
	Management of Biological Environment	The purpose in this major chair is to understand the principle of the ecological structure and function in various circumstances such as crop fields, forest areas and other useful locations with agricultural facilities, and to analyse the ecological changes or scientific phenomena in both natural and artificial conditions. More reasonable and theoretical practices for the control of plant growth and crop management are discussed and implemented in the advanced program with higher biological techniques, including pathological, entomological methods, and artificial techniques using agricultural-specific facilities or equipment.
Science of Biological Resources	Utilization of Biological Resources	This major chair offers studies on basic physiological, chemical and physical problems of various biological resources. We promote useful exploitation of resources for foodstuffs, energy, chemicals and feeds, new development of unused resources, effective regeneration of resources, and biological treatment of waste matters. Both education and research are focused on the practical application of these problems.
	Smart Material Science	This major chair is engaged in research on the understanding of biological processes through chemistry; that is, by identifying the structures of bio-active substances using spectroscopic and organo-chemical methods. In addition to the static chemistry mentioned, our research focuses on the dynamic chemistry of bio-active substances, the elucidation of the interactions of the substances, the mechanism of signal transduction, and bio-activity expression. Novel bio-active substances are developed along with advanced utilization of biological resources.
	Regulation of Biological Functions	Through scientific characterization of biological resources including proteins, nucleic acids and other bio-macromolecules involved, effective utilization and efficient control of the biological functions possessed by all living cells are comprehensively studied. Based upon these findings, extensive research is done to develop desirable, ideal systems for bio-production using biotechnological principles, i.e., gene recombinant, cell culture, and enzyme- and cell-immobilization techniques.

# Fields of Instruction and Research Themes of Professors

Course	Major Chair [Rengo-Koza]	PROFESSOR	Field of Instruction and Research		Major Subject Offered for Examination
			Research Field	Research Theme	
Science of Biological Production	Plant Production & Management	MATSUBARA, Yoichi (Gifu University)	Vegetable Crop Science	Biological and physiological study and the application to sustainable culture and environmental stress tolerance in vegetable crops	Vegetable Crop Science
		SUZUKI, Katsumi (Shizuoka University)	Protected Horticulture and Vegetable Crop Science	The study of suitable and high-quality vegetable production in protected horticulture	Protected Horticulture and Vegetable Crop Science
		FUKUI, Hirokazu (Gifu University)	Horticultural Plant Physiology	Theory of developmental physiology in horticultural plants and application of the theory to plant production	Horticultural Plant Physiology
		YAHATA, Masaki (Shizuoka University)	Pomology	Study on physiology of fruit set and Development of high quality fruit tree using chromosome engineering technique	Pomology
		SHIMAZU, Teruaki (Gifu University)	Environmental Control in Plant Production Systems	Development of environmental control techniques for plant production and its application to plant science	Greenhouse and Biosystems Engineering
		OBA, Shinya (Gifu University)	Plant Growth Diagnostics	Analysis of economical plants by genetic and eco-physiological aspects to develop the technology for plant production	Plant Eco-physiology
		MAEZAWA, Shigenori (Gifu University)	Food Distribution System	Empirical study for mechanism of food distribution	Food Distribution System
		YAMAWAKI, Kazuki (Shizuoka University)	Science and Technology for Harvested Horticultural Food Products	Studies on keeping and raising quality in harvested fruits and vegetables	Science and Technology for Harvested Horticultural Food Products
		NAKANO, Kohei (Gifu University)	Postharvest Engineering	Development of the quality preservation theory and technology in agricultural produces	Postharvest Technology
		KATO, Masaya (Shizuoka University)	Postharvest Physiology	Physiology, biochemistry, and molecular biology in postharvest horticultural crops	Postharvest Physiology
		ARAHATA, Katsumi (Gifu University)	Agribusiness Management and Economics	Economic analysis of farm behavior and industrial organization in agriculture and food system	Agribusiness Management and Economics
		ARAI, Satoshi (Gifu University)	Agricultural Economics	The theoretical and positive study on the regional agricultural economy and the agricultural policy	Agricultural Policy
		TOGASHI, Koichi (Gifu University)	Research on Local Industries and Corporations	Local industries and community development	Regional Policy for Industrial Development
		SHIBAGAKI, Hiroshi (Shizuoka University)	Agricultural Management and Economics	Theoretical and positive studies on agricultural cooperatives and agricultural finance	Agricultural Management and Economics
	Animal Resource Production	SASANAMI, Tomohiro (Shizuoka University)	Molecular Cell Biology	The studies on the molecular mechanism of egg envelop formation and fertilization in birds	Cell Biology
		KOHSAKA, Tetsuya (Shizuoka University)	Reproductive Physiology	Structure and function of the protein hormone relaxin in the male	Animal Reproduction
		TORIYAMA, Masaru (Shizuoka University)	Cell Biology	The studies on the mechanism of sea urchin egg mitosis	Molecular Biology of the Cell
		YOGO, Keiichiro (Shizuoka University)	Reproductive Biology	Molecular and cellular biology of development and differentiation of mammalian germ cells	Reproductive Biology
		IWASAWA, Atsushi (Gifu University)	Chemical Endocrinology	Biochemistry of animal endocrine system and metabolism	Chemical Endocrinology
		MATSUMURA, Shuichi (Gifu University)	Animal Genetics	Studies on evolutionary history and genetic diversity of animals	Animal Molecular Genetics
		DOI, Osamu (Gifu University)	Animal Reproduction	Physiology and technology of reproduction in animals	Physiology of Animal Reproduction
		YAYOTA, Masato (Gifu University)	Animal Nutritional Ecology	Nutritional ecology of ruminants and application to animal production	Animal Nutrition
		YAMAMOTO, Akemi (Gifu University)	Animal Nutrition	Nutrients requirement and nutritional evaluation for feedstuffs in monogastric animal	Animal Nutrition
		NINOMIYA, Shigeru (Gifu University)	Animal Welfare and Behaviour	Applied Ethology and animal welfare	Animal Welfare and Behaviour
		KOYA, Yasunori (Gifu University)	Animal Reproductive Biology	Studies on evolution of reproductive mode in fishes using functional morphology of gonad and reproductive behavior, and their application for aquaculture	Animal Reproductive Biology

Course	Major Chair [Rengo-Koza]	PROFESSOR	Field of Instruction and Research		Major Subject Offered for Examination
			Research Field	Research Theme	
Science of Biological Environment	Agricultural & Environmental Engineering	SENGE, Masateru (Gifu University)	Irrigation and Drainage	Theoretical and practical studies on management and effective use of water resource	Irrigation and Drainage
		HIRAMATSU, Ken (Gifu University)	Environmental Hydraulics	Management of water environment and aquatic ecosystem in rural area	Environmental Hydraulics
		ONISHI, Takeo (Gifu University)	Hydrology	Understanding the mechanism of water and material cycles and evaluation of the anthropogenic impact on these cycles	Hydrology
		ITO, Kengo (Gifu University)	Aquatic Environment	Management of environment and ecosystem conservation in paddy field	Ecology and Civil Engineering
		NISHIMURA, Shinichi (Gifu University)	Engineering for Agricultural Structures	Safety and effective use of agricultural structures for water supply	Engineering for Agricultural Structures
		IMAIZUMI, Fumitoshi (Shizuoka University)	Erosion Control Engineering	Management of sediment and water in mountainous catchments	Erosion Control Engineering
	Management of Biological Environment	MATSUI, Tsutomu (Gifu University)	Crop Production Science	Sustainable crop production	Crop Production Science
		TSUCHIDA, Koji (Gifu University)	Insect Ecology	Studies on the genetical variation within insect populations	Insect Ecology
		MUKAI, Takahiko (Gifu University)	Biogeography	The studies of the biodiversity in space and through time, and of the conservation methods	Biogeography
		TAGAMI, Yohsuke (Shizuoka University)	Applied Entomology	Development of insect pest control technique using insect-symbiont relationship	Biology of insect symbiosis
		KAGEYAMA, Koji (Gifu University)	Management of Plant Flora	Molecular ecology of soil microorganism, environmental evaluation using soil microorganisms	Ecology of Soil Microorganism
		SUGA, Haruhisa (Gifu University)	Molecular Plant Pathology	Studies on evolution, ecology and pathogenicity of plant pathogens	Molecular Plant Pathology
		TSUDA, Satoshi (Gifu University)	Plant Ecology	Ecological studies on vegetation structure and dynamics	Plant Ecology
		SAWADA, Hitoshi (Shizuoka University)	Applied Ecology	Plant population biology and adaptation to defoliation and disturbance	Applied Ecology
		YAMASHITA, Masayuki (Shizuoka University)	Ecological Genetics	Invasion ecology of exotic plants and weeds	Invasion Ecology
		INAGAKI, Hidehiro (Shizuoka University)	Agroecology, Weed science	Studies on assessment of biodiversity in rural area and ecological management of weed	Weed science
		MUKAI, Yuzuru (Gifu University)	Forest Genetics	Population genetics and eco-physiology analysis of mating systems and mechanisms for maintenance of genetic diversities in woody plants	Genetics and Eco-physiology
		KAWAKUBO, Nobumitsu (Gifu University)	Plant Evolutionary Ecology	Evolutionary Studies on Flowering and Pollination	Evolutionary Biology
		OHTSUKA, Toshiyuki (Gifu University)	Ecosystem Ecology	Carbon cycling and carbon sequestration in terrestrial ecosystems	Carbon cycling in terrestrial ecosystems
		MIZUNAGA, Hiromi (Shizuoka University)	Silviculture	Rehabilitation of forest ecosystem	Ecological Management of Forest
		AWAYA, Yoshio (Gifu University)	Forest Resource Management	Plant remote sensing and forest management	Ecosystem Metrology
		MURAOKA, Hiroyuki (Gifu University)	Ecosystem Physiology	Ecophysiological study from whole-plant to landscape in terrestrial ecosystems	Ecosystem Physiology
		ISHIDA, Megumi (Gifu University)	Montane Ecology and Management	Conservation and management of mountain zone	Montane ecology and management
		WEI, Yongfen (Gifu University)	Environmental Monitoring	Monitoring and assessment of mass circulation in basin environment	Environmental Monitoring

Course	Major Chair [Rengo-Koza]	PROFESSOR	Field of Instruction and Research		Major Subject Offered for Examination
			Research Field	Research Theme	
Science of Biological Resources	Utilization of Biological Resources	MITSUNAGA, Tohru (Gifu University)	Phytochemistry	Structural analysis and functional elucidation of plant secondary metabolites	Natural Products Chemistry
		TERAMOTO, Yoshikuni (Gifu University)	Chemistry of Biomass-based Materials	Material functionalization of cellulose, related polysaccharides, and wood components	Chemistry of Biomass-based Materials
		YANASE, Emiko (Gifu University)	Bioorganic Chemistry	Structural analysis and chemical study of plant polyphenols	Bioorganic Chemistry
		KAWAI, Shingo (Shizuoka University)	Lignin Biochemistry	Biosynthesis and biodegradation of lignin and related compounds	Lignin Biochemistry
		KOJIMA, Yoichi (Shizuoka University)	Wood Biomass Science	Studies on the effective use of woody biomass	Wood Biomass Science
		KAMAYA, Yasushi (Shizuoka University)	Environmental Toxicology	Environmental Fate and Biological Effects of Organic Contaminants	Ecotoxicology
		IWAMOTO, Satoshi (Gifu University)	Physical Chemistry and Engineering for Food Materials	Physicochemical studies of phase and/or glass transitions of food colloids for high value-added food production	Colloid Science for Food Materials
		NISHIZU, Takahisa (Gifu University)	Food Process Engineering	Research in food physics and engineering analysis of food process operations	Food Process Engineering
		YABE, Tomio (Gifu University)	Carbohydrate Biochemistry	Biochemistry and molecular cell biology of glycans for molecular structure and biological functions	Glycobiology
	Smart Material Science	ISHIDA, Hideharu (Gifu University)	Glycotechnology	Chemical biology of bioactive glycoconjugates	Chemical Biology
		ANDO, Hiromune (Gifu University)	Chemistry Featuring Carbohydrates	Molecular biology-oriented chemical synthesis of carbohydrates and application of their functions to medicinal chemistry	Chemistry on Synthesis and Application of Carbohydrates
		IMAMURA, Akihiro (Gifu University)	Applied Carbohydrate Chemistry	Chemical synthesis of biologically-relevant carbohydrate molecules and functional glyco-probes	Applied Carbohydrate Chemistry
		*KAMEYAMA, Akihiko (Gifu University)	Analytical Glycotechnology	Structure-function analysis of glycans and its applications to pharmaceuticals including products for medical diagnosis	Analytical Chemistry for Glycoconjugates
		UENO, Yoshihito (Gifu University)	Nucleic Acid Chemistry	Design and chemical synthesis of functional nucleic acids for gene therapy and genetic diagnosis	Chemistry of Nucleosides, Nucleotides and Nucleic Acids
		YOSHIMATSU, Mitsuhiro (Gifu University)	Life Science Organic Chemistry	Synthesis of bioactive compounds using a new methodology and their biological functions	Organic Chemistry

※ indicates guest professors from the National Institute of Advanced Industrial Science and Technology(AIST). Please note that in the case you prefer to study under the supervision of them, you will conduct research mainly at the AIST.

Course	Major Chair [Rengo-Koza]	PROFESSOR	Field of Instruction and Research		Major Subject Offered for Examination
			Research Field	Research Theme	
Science of Biological Resources	Regulation of Biological Functions	NAKAGAWA, Tsutomu (Gifu University)	Applied Biochemistry	Biochemistry and molecular cell biology of enzymes and proteins, and their application	Applied Biochemistry
		IWAHASHI, Hitoshi (Gifu University)	Applied Microbiology	Elucidation and utilization of stress response from microbe to higher organisms	OMICS Biology
		SUZUKI, Tohru (Gifu University)	Genome Microbiology	A new aspect of microbiology from genome science and bio-informatics	Genome Microbiology
		NAKAMURA, Kohei (Gifu University)	Microbial Molecular Ecology	Fundamental and applied microbial ecology in anaerobic environments	Microbial Molecular Ecology
		OGAWA, Naoto (Shizuoka University)	Environmental Microbiology	Analysis of the function of enviromental microbes	Environmental Microbiology
		SHIMIZU, Masafumi (Gifu University)	Plant Pathology	Studies on plant probiotics and plant-microbe interactions in the rhizosphere	Plant Pathology
		*CHIBA, Yasunori (Gifu University)	Microbial Glycobiology	Production technologies of glycan-engineered proteins and materials by microbes	Microbial Glycobiology
		HAYAKAWA, Takashi (Gifu University)	Food and Nutritional Biochemistry	Analysis of nutritional functions of water soluble vitamins and indigestible food components	Chemistry of Nutritional Functions
		NAKAGAWA, Tomoyuki (Gifu University)	Food and Nutritional Biochemistry	Molecular cell biology and molecular breeding of yeasts, Development of industrial enzymes	Food Microbiology
		EBIHARA, Akio (Gifu University)	Enzyme Science	Studies on structure and function of enzyme	Enzyme Science
		NAGAOKA, Satoshi (Gifu University)	Functional Food Science	Biochemical and molecular biological studies on the physiological functions of food components	Functional Food Science
		MORITA, Akio (Shizuoka University)	Plant Nutrition	Nutritional physiology of plants and plant cells	Plant Nutrition
		KOYAMA, Hiroyuki (Gifu University)	Plant Cell Technology	Molecular physiology and molecular breeding of acid soil tolerant plants	Plant Cell Technology
		YAMAMOTO, Yoshiharu (Gifu University)	Plant Genome Biology	Study of environmental adaptation and evolution in plants	Plant Genome Biology

※ indicates guest professors from the National Institute of Advanced Industrial Science and Technology(AIST). Please note that in the case you prefer to study under the supervision of them, you will conduct research mainly at the AIST.

# 入試統計・Admission Statistics

平成27年度・2015

専攻 Course	募集人員 Admission Quota	志願者数 Candidates	受験者数 Candidates taken exam	合格者数 Successful Candidates	入学者数 Enrolled
生物生産科学 Science of Biological Production	7	6(5)	6(5)	6(5)	6(5)
生物環境科学 Science of Biological Environment	5	4(2)	4(2)	4(2)	4(2)
生物資源科学 Science of Biological Resources	8	13(8)	13(8)	13(8)	12(7)
計 Total	20	23(15)	23(15)	23(15)	22(14)

平成26年度・2014

専攻 Course	募集人員 Admission Quota	志願者数 Candidates	受験者数 Candidates taken exam	合格者数 Successful Candidates	入学者数 Enrolled
生物生産科学 Science of Biological Production	7	8(4)	8(4)	8(4)	7(3)
生物環境科学 Science of Biological Environment	5	7(4)	6(4)	6(4)	6(4)
生物資源科学 Science of Biological Resources	8	9(6)	9(6)	9(6)	9(6)
計 Total	20	24(14)	23(14)	23(14)	22(13)

平成25年度・2013

専攻 Course	募集人員 Admission Quota	志願者数 Candidates	受験者数 Candidates taken exam	合格者数 Successful Candidates	入学者数 Enrolled
生物生産科学 Science of Biological Production	7	4(3)	4(3)	4(3)	4(3)
生物環境科学 Science of Biological Environment	5	6(5)	5(4)	5(4)	5(4)
生物資源科学 Science of Biological Resources	8	8(2)	8(2)	8(2)	8(2)
計 Total	20	18(10)	17(9)	17(9)	17(9)

平成24年度・2012

専攻 Course	募集人員 Admission Quota	志願者数 Candidates	受験者数 Candidates taken exam	合格者数 Successful Candidates	入学者数 Enrolled
生物生産科学 Science of Biological Production	7	2(2)	2(2)	2(2)	2(2)
生物環境科学 Science of Biological Environment	5	12(7)	12(7)	11(6)	10(5)
生物資源科学 Science of Biological Resources	8	12(4)	12(4)	12(4)	11(3)
計 Total	20	26(13)	26(13)	25(12)	23(10)

平成23年度・2011

専攻 Course	募集人員 Admission Quota	志願者数 Candidates	受験者数 Candidates taken exam	合格者数 Successful Candidates	入学者数 Enrolled
生物生産科学 Science of Biological Production	7	5(3)	5(3)	5(3)	5(3)
生物環境科学 Science of Biological Environment	5	10(6)	10(6)	10(6)	10(6)
生物資源科学 Science of Biological Resources	8	10(4)	10(4)	10(4)	10(4)
計 Total	20	25(13)	25(13)	25(13)	25(13)

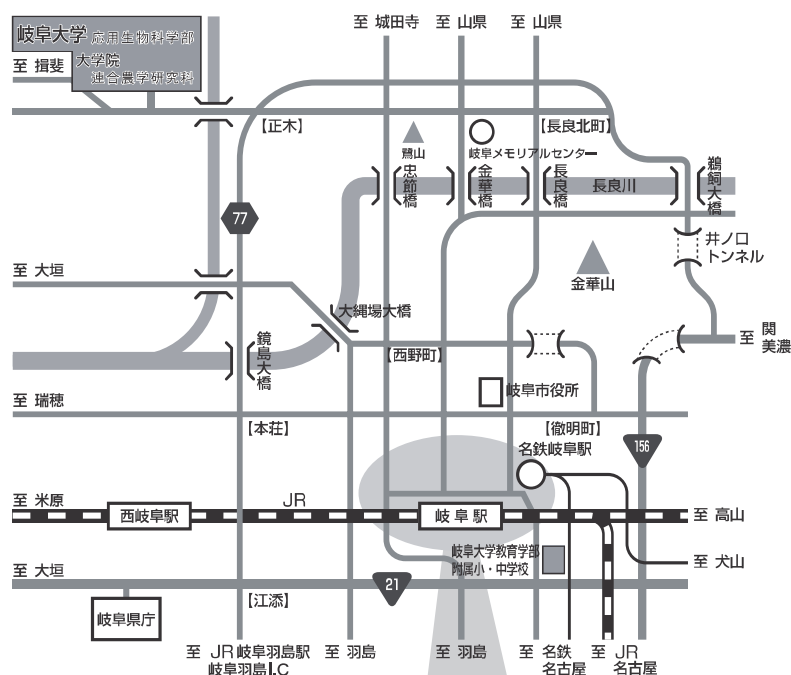
( ) 内数字は、外国人留学生を内数で示す。

( ) indicates the number of international students.

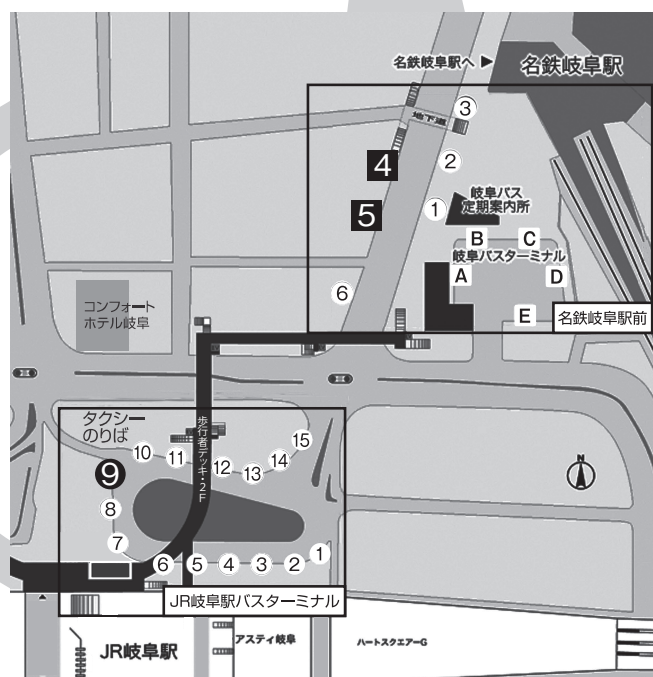
## 試験場への案内

試験場名	バスのりば		路線名	行先	系統No.
	JR 岐阜駅	名鉄岐阜駅			
岐阜大学大学院 連合農学研究科	バス ターミナル⑨	(北進) のりば ⑤	岐阜大学・病院線 (忠節橋経由)	岐阜大学病院 岐阜大学	C70 C71 C72
		(北進) のりば ④	岐南町線 (長良橋経由)	岐阜大学病院	N45

公共交通機関を利用した場合の料金は、320 円。(2016 年 4 月現在)



## ▼JR岐阜駅前・名鉄岐阜駅前周辺バスのりば

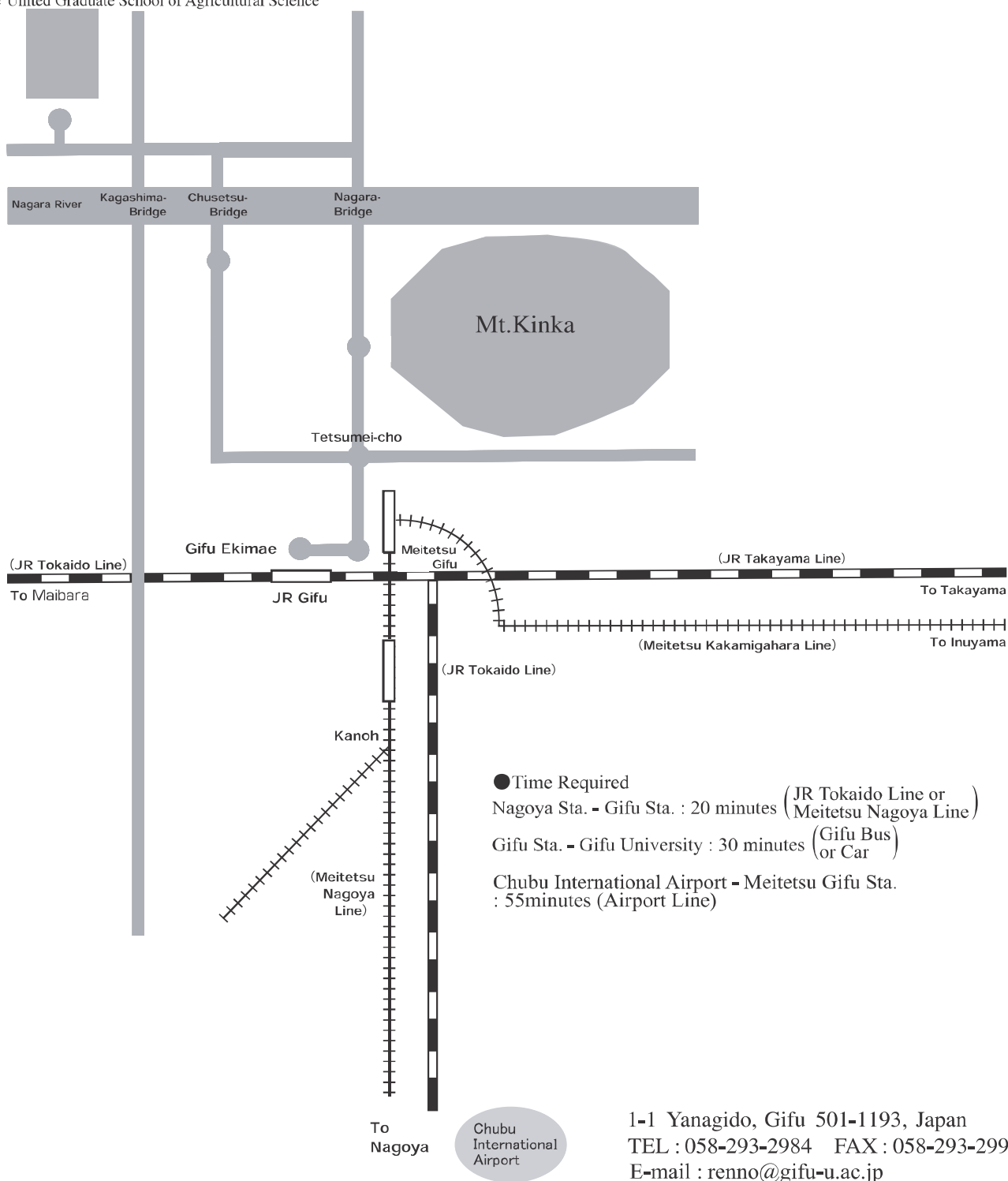


## Maps and Directions

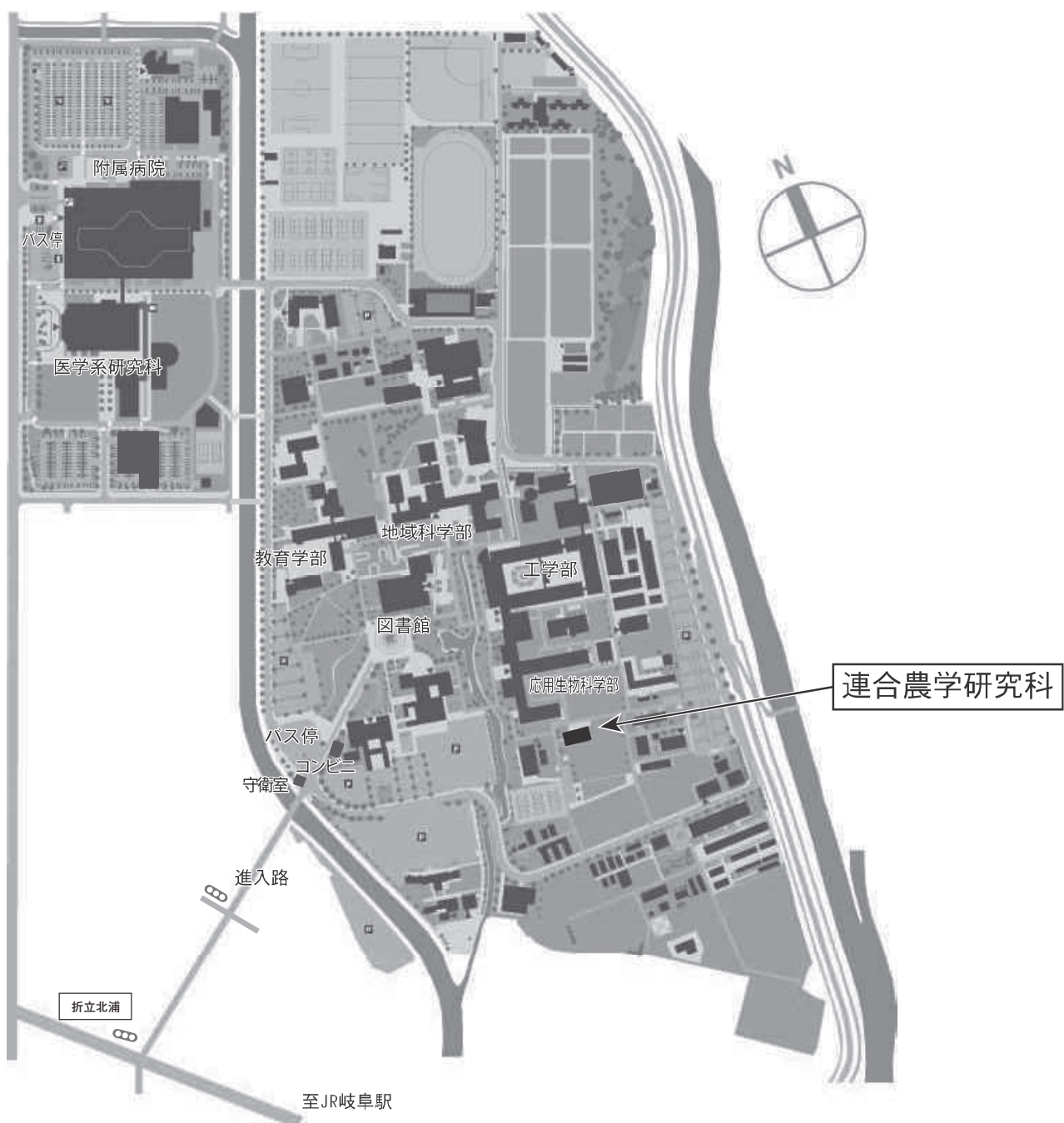
Entrance Exam Location	Bus Station		Route / Line	Destination	Bus No.
	JR Gifu Station	Meitetsu Gifu Station			
The United Graduate School of Agricultural Science, Gifu University	Bus Terminal ⑨	Bus stop ⑤ (North bound)	Gifu University • Hospital Line (via Chusetsu Bridge)	Gifu University Hospital	<b>C70</b>
				Gifu University	<b>C71</b>
		Bus stop ④ (North bound)	Ginan-cho Line (via Nagara Bridge)	Gifu University Hospital	<b>C72</b>
					N45

Bus fare: 320 yen (as of April,2016)

Faculty of Applied  
Biological Sciences,  
Gifu University  
The United Graduate School of Agricultural Science



# 岐阜大学構内案内図



# Campus Map



この募集要項の翻訳版（英語）において、意味又は文言に相違があった場合、日本語版が優先します。

In the event of any discrepancy between the Japanese version and the English version, the Japanese version shall prevail.



## 問い合わせ及び出願書類提出先

岐阜大学大学院連合農学研究科 連合農学係  
〒501-1193 岐阜市柳戸 1 番 1

TEL: (058)293-2984 ・ 2985

FAX: (058)293-2992

## CONTACT INFORMATION

The United Graduate School of Agricultural Science,  
Gifu University  
1-1, Yanagido, Gifu 501-1193, Japan

E-mail: [renno@gifu-u.ac.jp](mailto:renno@gifu-u.ac.jp)

Website: <http://www1.gifu-u.ac.jp/~rendai/>